京城日報

本紙定價　壹部郵稅共金五錢▲一ヶ月[illegible]▲六ヶ月同七圓六拾錢▲
廣告料　普通十四字詰一行一圓卅錢五號　特別二圓六十錢▲二號七字詰　▲四號九字詰二圓▲六號十六字詰金一圓三十錢▲代用一割増
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　長六千九番一　長六千九番二（振替京城三〇〇）

東部西伯利の土著民族（十）

帝國大學講師　鳥居龍藏氏

沿海州にはボルドこいふ土人が居るが北方に向つてアームルを段々往くとソフイースクこいふ大きな街がある。此邊へ來ると此の邊に下こいふ土人は消ねて終つて更に其處からはギリヤークこいふ土人が居る。ソフイースクの北に往くとマリーンスクこいふ所があつて其附近には大きな水澤の地がある此の邊は彼の間宮林藏氏の紀行文に載つて居る所である。其處を尙北西に往くとアムグン河になるが此の附近に彼の明代に於て建てられたこいふ女眞文こ蒙古文こに書分けた有名な碑文がある。アムグン河を傳はつて行くとセクードフ其の次は先頭串覽のあつたニコライエフスクになる。

私はニコライエフスクに一ヶ月ばかり居つたが其の時分知已になつた領事島田商會の人々或は露人などは悉く殺されて終つた。併し私の往つた時分には此邊に土人の部落或は石器時代の遺跡などに往つて見た。此處はハバロフスクからは三百里位距つた所で此の地方に於ては非常に大きな街であつて住民の氣質なども極めて醇良であつた。隨つて當時に於てアレ程の慘劇が起らうなどこは夢想だもしなかつたのである。私は此處で暫くギリヤークの部落などを汎べて種々調査を試みたが此の邊で一寸幾つて居るのはアムグン河口に居るネグダこいふ土人である。又河の上流にはツングスに屬するマングンこいふ土人が居るが其外は殆ごギリヤークである。此ギリヤークはアムール河口附近のみならず樺太の北部地方に迄分布るて居る。地圖を見るこ分るがハバロフスクから掛けて海岸地方に逆つて居るのがシホトリアン山脈で此の山脈の東方はオホツク海である。此の邊にはオルチエス或はオロチヨンなごが居る。

是等土人の生活狀態は多くは河の沿岸に在つて漁獵なる魚を獲つて蓄して居る所から其の生活は裕福である。アマリックこいふ所の北の方になるこ蟻鮫などが來るので彼等は夫を捕獲するが是は非常な儲けになる彼等は魚類を生の儘で食べ或は夏季に干して置いて冬季夫を食べる。衣服は昔は鮭の皮で拵へた衣服を着て居つたけれごも今日では餘程夫等の物は珍しくなつて餘り存在して居らぬが時々老人などが着て居ることがある。冬季は毛皮の帽子を冠り脚には長靴を穿き男は腰に小刀のやうな物を提げ[illegible]居る。家屋は機極も[illegible]を幾つも組合は[illegible]の皮或は動物[illegible]などを巻き付け[illegible]間單に出來て居る[illegible]家は總て船であつて往來しない。其の船は樺の皮で造つたもの或は獨木舟である。是等は鮮の石器時代の遺跡又は日本の夫れを見ても多くは陸路を往かずして獨木舟で水を往來したやうである。

支那官憲の八百長討伐
我軍證據書類を發見　國際上の一大問題

我軍隊は此程八道溝に於て不逞鮮人の家屋を搜索中一の有力なる證據書類を發見した夫は本年八月盃溝長が不逞鮮人討伐に出動した前後支那官憲の幹部こ不逞鮮人この間に往復した文書で當時支那官憲が八百長討伐を行ひ彼等こ氣脈を通じて暗に彼等を庇護した事實を暴露したものである此文書が果して眞事實を語るものとすれば國際上許し難き問題であつて鮮人の不逞行動事件に對する支那官憲の態度は全然誠意を缺き外交的幾多の事例には毫しも耳を藉すに足りない譯である（間島特報）

本國に縋をつく
英國自治領の代表者

ゼネバの國際聯盟總會に於ける顯著なる事項の一は自治領代表者が本國この間の利害に超然たる事これなり即ち加奈陀代表は聯盟總會こ理事會この宣言に關する統治に就て本國代表者のなしたる強硬なる主張を否認せるのみならず印度及南阿等主なる自治領代表者は英國代表者が重要視せる理事會の優越權を施行するに強硬に反對したり故に英國代表者バルフオアー氏は自治領代表者にも氣兼せざるを得ず此危險は共同聯盟者たる佛國代表者ブイブィア氏こ協議するの止を得ざるに至れる事一再ならず併も未だ加奈陀代表者を慰撫する事を得ず委任統治諸島に於ける日本移民に對する交渉も猛烈に反對し英本國の排日に對する友情こ相一致せず斯くて英本國は自治領を支配するの能力なき事實を暴露しつゝあり（紐育九日發電）

労働長屋
（四）調査の結果
山名善來

職業狀態

說明するに先だち興味ある左の調査表を揭記すべし

職業	人員	一戸平均收入（圓）	一人平均生計費（圓）
日稼及人夫	四七	二九	七、八二
小使	三〇	三三	一〇、九七
馬車曳	三七	三三	八、一四
荷車夫	二七	三五	一〇、三七
擔軍	二〇	二八	七、〇〇
商店雇傭者	一七	三二	七、四一
鐵工	一三	三六	一一、一五
行商	一五	三四	六、八〇
印刷職工	五	三五	一四、〇〇
ブリキ職工	八	三〇	七、五〇
竹細工	四	四三	一〇、二五
古物商	六	四五	七、五〇
左官	二	三五	一七、五〇
薪商	五	三〇	六、〇〇
菓子製造	五	五〇	一〇、〇〇
仲介業	四	三〇	七、五〇
ミルク製造工	四	二四	六、〇〇
皮革工	四	四五	一一、二五
雜工	一四	四四	六、二九
無職	一	一〇	二、七三
合計	二七八		
平均		三二	八、五七

世帯主の職業の分類は雜多にして細別すれば限りなきを以て大約同一種類のものは成る可く總合して前表の如く二十ケに分類せり而して其の内最も多數なるは日稼及人夫にして十四戸を算せり次は官廳公署又は會社等の他の小使にして十戸あり馬車曳九、荷車夫及傭夫八、擔軍左衞にして同職業者は多く職を求めて同一棟内に居住せるが如し注意すべきは馬車曳、荷車夫、傭夫等は何れも馬、車等を自ら有せざるは勿論なりこす又行商こ稱するはカヤボコ、果物、豆腐等の行商をなす

世帯主の從事する各種職業の平均一ヶ月收入は二十九圓餘に相當せるが其の最も多額の平均收入を得つゝあるは皮革工及古物商を最こす今左に平均收入を超ゆるものこ以下に區分し順次に配列すべし

平均一ヶ月二十九圓以上の收入あるもの
皮革工、古物商、鐵工、印刷職工、竹細工、左官、小使、馬車曳、荷車夫及傭夫、薪商、菓子製工、仲介業、商店員、行商

平均一ヶ月二十九圓以下の收入の者
日稼及人夫、擔軍、ブリキ職、ミルク製造工、雜工

右の内平均收入以下に於てミルク製工は婦人の職業なり雜工は篭笥製造及草鞋製造等にして何れも常時從事のものにあらざるを以て其の收入少きが如し

戸數七十四戸の内家族收入を有するは僅に十三戸に過ぎず其の他の六十一戸の家族は何等の收入を有せず世帶主の扶養のみに依りつゝあり而して家族收入の平均は約十八圓八錢の月額こなる此の如く僅少なる家族收入を以てしては彼等薄收入の世帶主の負擔を重からしむるものなるを以て其の家族收入を增加する爲就職方勸獎を試みたるも或者は幼兒攜帶の爲勞働不能なるを以てし或者は世帶方の勞働收入を以て生活十分なり働く必要なき旨を以てせる馬車曳子の妻ありたり保育所の如き設備を試むると共に彼等低級者の教化を行ふの餘地少からざるものあるが如し

貯蓄及特種要路の有無等に付調査せるも全然効に捲れり收入の狀況より見るこきは貯蓄の餘力なきは事實なるべし又貯蓄に就ては何等の考慮をも加へざるが如し一朝不慮の災害疾病其の事故あるこきは彼等の痛苦は想像以上なるべきものこ認めらる

陸海軍行賞發表さる

海軍露領方面の[illegible]戰隊六百十八名の第二回行賞及陸軍第四次一千七百四十九名に對する行賞十日發表せられたり（東京發電）

目賀田男の露國觀
『軍事的干渉は益なし』

イヴニングポスト紙の通信員は日本代表目賀田男この會見談を同紙に打電せり即ち男は曰く露國は今や漸次改善せられつゝあり昨年の事情の相違は之を脱しつゝあり即ち現にペトログラード及び莫斯科は勞農的色彩を脱しつゝあり右の形勢が今後維持さるゝに於ては次回の國際聯盟總會には或は露國の聯盟加入を拒む事不可能こなるに至るべしこ余は確信す列國が外部より如何なる軍事的干渉を試むるも何等露國問題の解決に益あらず何こなれば露國は自ら自國問題の解決に着手したり他國の行動は却つて露國人を憤慨せしむればなり列國は宜しく露國人の自國問題解決の希望を輔翼すべき必要あり今の所露國は其の外債を償却するの力なし露國の現在は何等の事をもなし能はざるを以て列國は債券關係を尙數ケ年を猶豫せざるべからず然れごも余は之等を露國が返濟すべきを信じて疑はざるなり云々

ダヌンチオ麾下脱退

剛馬來電によればフユーメ偵察中の伊國驅逐艦二隻はダヌンチオ氏の配下を脱したり（倫敦九日發電）

時事小感（十九）
三笑生

◎世間でも屢々論議せらるゝ所であるが、吾人が日韓併合の大精神、大理想を實現しやうこするには種々方法手段もあるであらうが、何よりも先づ内鮮人の接觸が必要である。若し吾人をして兩者の間に立つて、犬馬の勞を取れよこ云ふものがあるならば、決して厭はない積りである。今日までは不幸にして、吾人に犬馬の勞を取るべく餘儀なくせしむるものさへ無かつたけれごも、過去の事よりも、將來の事が問題であるから、今後は當局なり、世の有志家なりが、吾人をして犬馬の勞を取るやうにして貰ひたいものである。

◎それに就て吾人の一考せねばならぬことは、社會は決して一色一種のものではないこ云ふここである。人間は、各々其の信仰、其趣味を同ふする者が、相寄り相集まりて個々の社會を形造るものである。譬へば佛教を信仰する者は、佛教を信仰する者同志が、基督教を信仰する者は基督教を信仰する者同志が、天道教、侍天敎、青林敎、其他何敎何教こ、各其信仰する者同志が、相寄り相集まるのは、自然の結果である。其他文藝、囲碁將棋等の趣味に於ても亦其通りである。而して其の信仰、其の趣味に至りては、其の内地人たるこ、朝鮮人たるこに於て、餘り異なる處はない。故に内鮮人接觸の機會を作るも、此の信仰、此の趣味を同じふする者が、互に相寄り相集まるここ云ふここから始むるここが何よりの捷徑である。

◎予は此の機會に於て、内鮮人の接觸上、内地人の參考に供して置きたいこ思ふ事がある。それは予が從來屢々内鮮人會同の席上に於て、得た所の感想である、それは何かこ云へば、鮮人會同の席上、殊に内鮮人融和の意味を以て催さるゝ席上に於ては、型から打出したやうに、『内鮮人は融和せざる可からず』こ云ふここを述ぶることである。是れは、吾々内地人が、朝鮮の時局に鑑み、又東洋の將來に鑑み、黄色同胞の關係に鑑み、内鮮人が兄弟牆に鬩ぐやうな事をする場合ではない。一日も早く融合の實を擧げねばならぬ。吾々内地人の朝鮮人に對する考へは、全く是れにあるのだこ云ふ意味を徹底せしめんこの麗しき考へが、斯かる機會に於て、自然露はるるので、少しも咎むべき點はないのであるけれごも、朝鮮人側では、一種の口頭禪こして聞へない迄も、又例の内鮮融和論かこ思はしむる場合が多い。言ふ迄もなく、斯かる會合に出席する位の人ならば、内鮮人が融和せねばならぬ位のことは、百も承知のことであるから、寧ろ内鮮融和を口にするよりも一回よりも二回、二回よりも三回こ接觸して往く内に、自然に互の意志が融合するやう努むることが肝要である。

高秋吟（第十九回）

晩秋　大正九、一一、六

○迦南
亭を壓して晩秋の松の鬱さかな
晩秋や日々芝掻きてゐる童子
○蘇城
行秋や高粱刈れば果てなき野
晩秋や枯蔓鳴らし來し風雨
○但人
行秋の廊下響かせて閉づ扉
○紫光
暮秋や果物店の鏡壁
○朱楠
卓灯つて晩秋の人去りにけり
○青丘
行秋の雨の寒さや病餘人
○雨兮
斷礎の蕗ほろ〳〵こ秋の行く
○無月
大空に鐘低さよ暮の秋
○暮情
行秋を旅中の句座に沈みけり
○橙黄子
行秋や帳場の中の主人の座
晩秋や縱横に細菜屑

挽克賢鄭雲復君　石岡　金明瑱
五十一年克貧人。浮沈萊蔀幾傷神。是非窮達都無問。便作青山一塊與。

發明世界

每號有利有益　一攫千金の新發明新發見　無盡藏の寶庫を開放す　新智識を獲得して巨利を博せんこ欲する人々の絶好の關!!大至急申込あれ
每月一回發行　▲一年分前金壹圓　◆東京上野池ノ端茅町二ノ八　合資會社發明世界社　振替東京七二二二一

支那語速成講義錄

▲支那の研究は刻下の急務なり○米國の排日案唸止は結局絶望○今后活動の大舞臺は支那なり　六ヶ月修了　會員大募集
本會獨創の教授法は初心者にも僅々六ヶ月にて支那語を理し支那新聞を讀み○時文及び通信文を作るに毫も遺憾なからしむ
規本及會則郵券要二錢　東京市外西巢鴨町二〇七五　振替東京三八五三八番　東亞學會出版部
特典（今期の全期入會者に限り講義錄及會則附見本共全部七冊郵費送料共金四圓八拾錢端書にて申込次第代金引換にて即日送本す

自動車運轉手技術者必携

前警視廳自動車檢査官　將地久吉著　ポケット形特製定價一圓卅錢
▲本書は著者が多年國に於て研究せし學理を運轉手技術者並に運轉志望者の爲にバックアアイマベヤリング氣化器クラッチ着火蓄電池分解心得自動車問答自働車の解剖を平易に了解し得る樣記述せり

家庭内職副業案内

▲家庭内職研究會編　▲四六判　定價五十錢　送料四錢
▲本書は（附錄）東京市三笠小學校に於ける内職展覽會の内職一覽表　百圓位收入ある副業や一日二三圓位になる内職を約二百種男女年齡別年中品切の有無化事を出す者の住所氏名を詳細に紹介してある

二百割以上利益ある商品製造及販賣法

▲川瀬線川編　▲四六判定價貳拾五錢送料二錢
女子供にも出來る地方必適ノ一時間で一圓五十錢になる!!三十二圓で二百七拾九圓の收益　一萬圓小資本で儲かる法種々

農家の金儲

▲山崎耕村編　▲定價七拾錢送料四錢
森林の下草から年三百圓以上の利益
本書は全國如何なる土地でも立木の空間や廢地を利用して反百圓以上の收益ある副産物栽培法で手數も資本も僅かで農家の傍ら出來るもの。○發行所　振替東京四二七九一　東京神田區大工町八　霞書房

獨學自解　國語講義錄

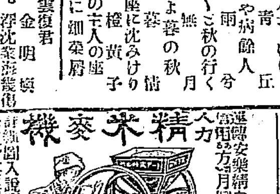
日獨習の最捷徑なり　振替京城貳一參　電二一一七　京城本町　ウツボヤ書籍店

最新刊

◎旅獵必携遊獵案內　興津辰知　一、二〇
女心　宇野浩二著　一、三〇
女の心男の心　翠川無松著　一、六〇
日本史講話　上下　文學博士萩野由之著　定價八圓八拾錢
娼妓と淫賣道　德富源浦　一、三〇
姙婦の養生と赤兒の育て方　一、六〇
神の心理的研究　入谷智定　一、六〇

大阪屋號
京城本町一丁目

人力精米麥機



運轉安樂精白迅速便利方月賦長期附す貨物回品試驗を乞ふ
詳細圖入說明書は申込次第送呈　製造元　大阪西區市岡町東亞物産社

大正十年　博文館日記

日記なき生活は無意義である！　記錄なき生活は時代錯誤である！

現代人の生活は決して單調でない。滿足と失意と歡喜と苦患と錯綜推移して、之を一々記憶してることは不可能である。その日〳〵の斷片的記錄も終に生涯の歷史を形成することになる。時代に隨伴して意義ある生活を送らんとする人に日記の愛用を薦むる所以である

當用日記　六種	家庭日記　一種
懷中日記　四種	小學生日記　一種
ポケット日記　七種	家長原簿　二種
英文日記　二種	家計日記　一種
	家庭出納帳　一種

（全國書店、文房具店にて販賣す）　東京市本石町　株式會社　博文館　振替東京二四〇番

最新刊　朝鮮親族相續慣習類纂

政務總監　水野練太郎閣下序
法學博士　萩山[illegible]太郎　元法務局長　春澤得一　共編

本書ニ輯録スル實例ハ
一、慣習調査報告書ニ揭載セラレタルモノ
二、政務總監、法務局長等ノ回答及通牒
三、高等法院以下各裁判所ノ判決例
ニシテ大正九年十月一日現在ノモノナリ

朝鮮人間の親族及相續に關する事項に付ては民事令第十一條に依り民法の規定に依らず其の慣習に依るここ爲せるを以て之に關する慣習は朝鮮今日の法律關係上最も重要なる地位を有するものこ謂はざるべからず、然るに今日迄之に關し公刊せられたるもの數種あるべしこ雖其の掲載する所孰れも一部分に繋り未だ其の全部を網羅せるもの無く爲に執法官及民籍吏員は勿論苟も之に關する事務に從事する者の常に甚大なる不便こ困難を感ずる所なり編者之を遺憾こし茲に本書を公刊せらる　編者は篤學者にして斯法の造詣深きを以て譽らるゝ人本書は實に編者の該博深邃なる研究こ務上の經驗こに基き簡潔明快を旨こして錯雜紛淆せる慣習に關し各般の事項を悉く一巻の中に收め民法編纂の順序に傚ひ秩序的に編纂し且つ民法の規定を對照して閲覽に便ならしむ用意周到を極め一讀の下に釋然こして其の歸趨を領解せしむべし[illegible]勿論苟も朝鮮今日の法律制度を知らんこする者の必讀の書なり

定價金壹圓八十錢　送料金十錢
發兌　京城本町二丁目　巖松堂書店　電話二六六番・振替二四五四番

珠算　養成　責任

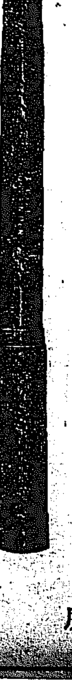
講師本學校長民屋喜一先生（又改正）講典大革新通信教授　三ヶ月卒業保證付大責任見よ　規則書郵券二錢送れ
振替大阪四七八一七番　名古屋市西區本重町一丁目　尾三速算學校　電本局三二四八

男女　有望業務

僅か二ヶ月間で自宅獨習卒業出來る無試驗開業出來[illegible]　進呈　志願者は直にはがきで東京市牛込區[illegible]事務所宛申込次第業務案內詳細送附す

パイロット高級萬年筆

マダ排日の本場から、年々貳百萬圓程の萬年筆が流込んで居ります、果して私共製作者の罪でせうか？　舶來かぶれの弊でせうか？　冷靜に御研究を願升



ウキワ印　パイロット高級萬年筆（定價金貳圓五拾錢）以上
東京日本橋　株式會社　並木製作所

歸順者の誠意
韓民會所屬鮮人の決議

琿春附近に於て一勢力を有せし韓民會所屬の不逞鮮人團は我が派遣軍の威力に懾せられ有力者大部分は何れも歸順の意を表するに至りしが彼等は更に自己の誠意を一般鮮人に表示する目的を以て去る七日左の決議文を配付せり

一、各村落に潜伏せる不逞匪を漏れなく歸順せしむること
二、右の目的を貫徹する爲め會員を各村落に派遣し勸告文を配付し又は戸別訪問をなし歸順を勸告すること
三、各部の使用したる武器を捜索し之を日本軍に提供すること
四、琿春縣下在住の鮮人は爾今輕擧妄動せず安寧秩序維持を期すること
五、鮮人保民會を設立し生命財産の保護及び教育産業を奬勵すること
六、保民會設立の爲め其の維持法を協議し右維持方法に就き評議員八名を選定し來る十三日會合を催ふし具體的方針を協議すること

愚にも付かぬ謠言
不逞鮮人の良民脅迫

昨今琿春及間島地方の不逞鮮人は謠言を放つて曰く『間島鮮人全部が日本軍に歸順せば日本は駐兵の口實を失ひ直ちに撤兵すべし然る時は吾人は爾後に至り更に韓國獨立運動を復策すべし』とか或は『吾人は飽く迄日本軍に對抗し歸順者に對しては後日大々的に懲罰を加ふべし』とか善良なる鮮民を脅迫して彼等に不安の念を懷かしめ以て一方日本軍の行動を妨害せんとすると同時に又地方に於ては今後に於る彼等不逞者等が自己生活の資材を一般鮮人より提供せしめんとする悪辣なる利己手段より出でたるものにて斯の如き無稽の謠言は心ある鮮人に對しては何等の價値なきのみならず斯の如き事實の實現は一種の夢物語りに過ぎざるべし(間島特電)

支那代表の運動

國際聯盟總會に出席中の支那委員顧維鈞、唐在復兩氏は山東問題を次期の聯盟總會に提出すべくゼネバに於ける各國代表間を遊說し頻りに援助を求め尙ほ廿一ヶ條の廢棄につきても各國代表間に運動したる結果次期總會に山東問題に併せて提出すべしと(上海十日發電)

二重要案廢棄さる

國際聯盟總會は財政整理及交通會議の組織案を廢棄せり(紐育九日發電)

ウイルナ問題紛糾

ゼネバの國際聯盟總會に於てウイルナ人民投票問題は全露國問題を包含する一大爭點となるべき虞あり聯盟理事會はリスアニヤ外相より通牒を受領したるが外相は

露國は自身若しくは或る領土に對するリスアニヤの權利を承認するとせば其は實にリスアニヤ其の他の國が波蘭に對し其土地を讓渡し得べき權利ある事をも露國側にて承認したる譯となるべしと說き來りたり(倫敦八日發電)

聯盟リスアニヤ開戰か

リスアニヤ政府は昨日の國際聯盟總會に於てウイルナの人民投票を監督すべき聯盟の國際軍隊はリスアニヤの領土に一步も入るべからずとの通牒を聯盟總會に致せり國際聯盟とリスアニヤ間に戰爭開始の虞あり(紐育九日發電)

愛蘭と講和に決定

英國內閣は愛蘭との講和を承諾し之を決定したるが未だ同問題の前途は依然迷霧にあるが如し(倫敦八日發電)

フユーメ紛擾解決
今後のダ氏の態度決定

伊太利政府對ダヌンチオ氏のフユーメ占領問題は逐日例のラッパロに於ける協約成立の結果一先づ解決を告ぐるに至りたるが右に對しダヌンチオ氏は飽る不滿の意を抱きたる結果該協定に對し服從せざる旨を聲明し同時ダヌンチオ氏はアドリヤチック方面に再び活躍を試むべくバエダリヤ、アルベ諸島を根據として遂に獨立の旗幟を鮮明にせんとしたるを以て伊太利政府は再び衝突を起し直ちに去る一日ガリビャ帥が同司令官に對し叛徒を剿滅せしめフユーメ及びダヌンチオ氏占據の諸島に對し封鎖を斷行しダヌンチオ氏の反省を促しつゝありたるがダヌンチオ氏は右封鎖に對抗し隱忍なる祖國政府が今更我等愛國者を捨て我等を包圍し以て同胞を虐殺せんとすれば我等は祖國の爲め奮然戰ふべしと聲明したるが一方艦隊の封鎖の裏を搔かんため陸上に於て列車を運轉せしめて食糧の充實を計りたるに艦隊の封鎖行動は何等の効果なかりき尤も伊國政府とてもダヌンチオ一派に對し砲火を以て之れを殺戮せんとするにはあらず唯一時の脅威を行ひしに止まり其後下院代議士數名をフユーメに派遣してダヌンチオ氏に勸告する所あり其結果ダヌンチオ氏も讓步しバエタリヤ・アルベ諸島を拋棄し唯カーネロ群島はダヌンチオ氏の占據すべき事を承諾するに至るなり右問題は茲に無事解決したるが之に從りてフユーメに關する紛擾一切は終結を告げたるもダヌンチオ氏は今後アドリヤチック方面に於て如何なる態度をとるべきか頗る興味ある問題なり(東京發電)

兩孫派接近す

其黨派は一致を見るに至れり(上海九日發電)

[illegible]

露國の軍備擴張
歐洲各地攻擊の準備

莫斯科電=勞農政府は目下歐露にて豫備軍を編成しつゝあるが其數百四十萬なり尙勞農政府は明年二月迄に歐洲各地攻擊準備のため東南露國々境に十數ヶ師團を特設し同時に印度に對する攻擊準備に着手すべし(東京發電)

廢帝に斷念勸告

希臘天主教は前帝コンスタンチンに對し同帝の歸國は希臘をして連續危險に陷れ全く希臘王室の將來を危殆ならしむるの虞あり此の理由を以て同帝の歸國希望を拋棄せん事を切に勸告せり(倫敦九日發電)

匈牙利帝政運動

匈牙利の帝政復活運動は猛烈を極め來れるがカロル廢王の復位は對外的に困難ならん(巴里七日發電)

講和條約とウ氏
議會に再提出交涉中

大統領ウイルソン氏は講和條約を再び議會に提出すべく交涉中なり而してゼネバに於ける現狀を開拓して更に米國元老院委員に對し同條約を是認せしめ批准を計るやも知れず(華盛頓八日發電)

軍事協定取消近し

日支軍事協定取消の件は其打合を略終了し十日以內に事務を終り北京政府外交部と日本公使との間に公文書を交換し直ちに取消を宣言する筈なり(上海九日發電)

長沙造幣廠占領

湖南第二旅長王路の部下延滯給與要求のため八日岳州長沙に上り造幣廠を占領し市內の掠奪をなし一般軍隊は秩序維持に力めつゝあり形勢は極めて險惡なり(漢口九日發電)

定例閣議

十日の定例閣議は午前十一時より首相官邸に於て開會左記事務を決定し正午散會せり(東京電報)

一、判檢事停年令中改正の件
一、朝鮮總督府裁判所職員停年令中改正の件
一、司法官及朝鮮總督府司法官俸給令中改正の件
一、高等官俸給令中改正の件
一、人事(農商務、鐵道、遞信省所管)

陸海 四大將
論功行賞

歐洲戰爭參加の陸海軍高級幹部の論功行賞は年內に終了し來年一月中に發表さるべく內主なるは左の如くならん(東京發電)

授子爵 參謀總長陸軍大將 上原勇作
授子爵 陸軍大將 大谷喜久藏
同 大井成元
授男爵 海軍大將 島村速雄
授子爵

黑龍州近情

[illegible]近づくに從ひ人心緊張の度を加へつゝあり地方農民は穀類の徵發に應じ[illegible]は閉鎖するもの多く其有する金[illegible]に依つて支那領より各種必需[illegible]府當局は民心の動搖を虞れて[illegible]

學校昇格方針
大體決定す

文部省の專門學校を大學に昇格せしむる方針の大體は左の如く決定せり(東京發電)

一、高等師範を廢止し教育家養成機關を大學に統一する事
二、新に東京、大阪、神戸に三大學(單科)を創設す但し專門部を置かざる事とす

東京及廣島兩高等師範の組織を變更し之を文、理二學部の大學とし二は高等諸學校大擴張後の第二期計畫とし東京高工、大阪高工、神戸高商の三專門學校を廢し其設備を利用して以上の大學創設に充つる事に決定す卽ち當局の方針は昇格に非ずして廢校なりと

陸軍技師增給
同時に教授も

陸軍にては從來技師教授等の俸給頗る薄給にて之を海軍に比すれば海軍側は技師平均年俸二千[illegible]なるに陸軍は二千七十八圓又海軍教授は二千三八十圓なるに對し陸軍教授は千八百二十圓と云ふが如く其額に著しき差違あるを以て秀才は海軍に走る狀況なるより當局にては之が改善の必要を認め來年度豫算に之が豫算を計上したり(東京發電)

司法官增俸

十日の閣議に於て司法官增俸の件は解決したり今日迄司法官と行政官との間には其給與に甚だしき差異ありたるため司法官は常に相當の生活を爲し得ずとの議論ありたるが右解決の結果行政官と對等の待遇を受得ることなれる次第なり(東京發電)

殖產局長訓示

水產製品檢査員會議及び水產主任技術官會議に於ける西村殖產局長の訓示左の如し

新總督施政以來既に一年有餘茲に再び諸君と會同し水產に關する所見を交換するの機會を得たるは本官の欣幸とする所なり

大正八年の統計に徵するに朝鮮の水產業に依る生產額は漁獲高、製造高を併せ七千二百萬圓の巨額に上り之を前年度の生產額に對比するに一躍二千萬圓の增加にして魚價の騰貴に基づく自然增加を控除するも約一千萬圓の增額にして漸次隆盛の域に進みつゝあるを認むるに難からず然れども翻て水產事業の現況と漁民經濟の情態とに鑑み又既往に於ける進步の遲々たるに比して將來に於ける施設改善を加ふべきもの頗る多大なるを思はしむ

[illegible]

產米增殖策

產米增殖に關する總督府の方針たる從來水利組合のみに補給し來れる補助金下附の範圍を擴張し水利組合、灌漑改善、開墾干拓、地目變換等苟くも地方に於ける水利事業に對しても補助金を交附するに改めたる結果右に關する法規制定の必要に迫られ內務局に於て『土地改良補助規程』を立案し目下參事官室の審議に附しつゝあり早晚政務總監の決裁を經府令を以て公布せらるべしと云ふが同令の內容は從來の水利事業に對する補助(一割五分以內)地目變換(畓に變するもの)二割五分以內、開墾干拓三割以內を夫々支給すべく其の基準を定めたるものにして本令發布の曉には當然從來の『水利組合補助規程』は廢止せらるゝ都合なりと云ふ尙本年度土地改良補助費は水利組合補助費三十五萬圓及び前年度繰越金十五萬圓を合し合計五十萬圓にして明年度豫算に於ては同補助費を本年度同樣五十萬圓を計上せるも[illegible]以上本年度の水利組合補助費額より打算し同額の理由なきを以て五十萬圓說は恐らく誤傳ならむと某消息通は語れり

教育調査會
開設期未定

朝鮮教育令改正に伴なふ朝鮮教育調査會新設は既に委員內定して來る一月十日頃第一回を開會すべしなど傳へられつゝあるも當局者の談に依れば未だ委員の內定を見るまでに進捗せず目下內地の委員任命に交涉中で[illegible]鮮は近い關係上未だ交涉も開始せぬ有樣なれば從つて一月十日に第一回を開會する等は全く噂に過ぎず調査會の委員は二三十名である內鮮官民有力者を網羅する筈であるが遲くも本年度內には第一回の委員會を開催すべき豫定なりと

土地改良補助
近く公布

總督府に於ける水利組合事業補助に關する事務は從來內務局第二課に隷屬せるも過般殖產局內に土地改良課新設せらるゝと共に同課の所管に移したるが[illegible]

吉會線速成問題
目下支那側と交涉中

吉會鐵道速成に關する件は過日の閣議に上りたる所なるが該件は假契約締結當時擔保に就きて遺憾の點あり高橋藏相は容易に肯んぜざりしが夫のみならず敷設豫定地方は工事困難にて支那側との交涉も意の如くならざる模樣なるが帝國としては是非之が開設を希望しつゝあれば適當の考慮を加へ目下交涉を遂げつゝあるもの、如し(東京特電)

急造大學は駄目
京城醫專の昇格に就て

東京電報は京城醫專の大學昇格を報じつゝあるが右に就き某學務當局は語る『京城醫學專門學校の大學昇格計畫は芳賀博士案があり當局として考慮中であるが東京の如き大正十一年度に昇格云々は受け取れない假りに大正十年度に高等學校を新設して高等豫備教育を實施するとしても大正十四年度でなくば大學に入るべき學生が無いので大學だけを造つても駄目だと云ふ事になる或る人は大學を急造して取敢ず內地の高等學校學生を收容すべしと云ふが斯くの如き急造大學は朝鮮の最高學府として何の價値があるか勿論來年度の豫算に此計畫が含まれてゐないのは當然であるが大學より高等豫備教育機關の急設が第一の緊要事である。內地でも東京高商の商科大學昇格の如き本科生は大學豫科生となつて將來直ちに大學に入り得る異例もあるが醫科の如き特殊な科學は到底此方法が行はれないので大學急造は非常に困難である。從つて先づ十一年度に大學昇格等は確實なものではないと思ふが將來は是非とも朝鮮にも綜合大學の如き最高學府が必要であり建設される事は疑ひがないと確信する

各地選擧結果
道評議員候補

釜山 道評議員選擧は(定員一名)十日午後一時より府廳樓上會議室に於て本田府尹監督寺島事務官以下各課主任立會の下に執行せられたるが開票の結果左の如し(釜山)

△十一票迫間房太郎△九票坂田文吉△七票石原源三郎△四票朱台觀△三票李圭直△一票小林一郎△一票山本純一△一票福永政治郎△一票山野秀一

平壤 道評議員選擧は十日午前九時府廳樓上に於て執行されたるがその結果左の如し

當選者久保順吉氏(一〇票)鄭世僖氏(九票)次點森岡二三氏(六票)[illegible]千氏(六票)森岡二三氏は鄭世胤氏と同點なりし

新義州 道評議員候補者選擧は十日午後二時三十分より府協議會員會議室に於て執行せられ同三時三十分終了左の如し

▲九票加藤鐵治郎▲七票松與新次▲六票李基鷗▲一票多田榮吉▲一票前原秀吉(新義州)

馬山 道評議員選擧結果八點松原逸造、次點目賀田平三郎兩氏當選したり(馬山特電)

木浦 府協議員の選擧すべき道評議員は十日村上直助氏當點にて[illegible]

群山 民選道評議員選擧は十日群山府廳に於て府協議員會開催投票の結果八點赤松繁夫、七點森菊五郎の兩氏を當選したるが赤松氏任命せらるべく豫測せらる(群山特電)

咸興 十日午前十時より咸興面事務所に於て道評議員並に學校評議員選擧を執行し學校評議員は開票の結果金憲(六票)劉兆義(五票)兩氏當選せり(咸興特電)

仁川 仁川府に於ける道評議員候補者選擧は既報の如く十日午後三時仁川府廳上會議室に擧行府協議員全部出席午後三時三十分開票の結果左の如し(仁川)

[illegible]

滿鐵幹部消息

[illegible]

綿絲慘落
銀塊安響く

前日四片方の激落を入れたる倫敦銀塊は十一日更に一片安にて三十八片八分の七の入電あり」支那印輸出の不利より綿絲の商狀惡化し十一日大阪綿絲の前場寄附は當限二百二十七圓、先限二百四十一圓と十月の底値に顏合せをなすに至り斯界安定の人氣を裏切りたるが之れを十一月高値に比すれば百二十四五圓の大値下りたり尙ほ綿絲の市況も不良なれど綿絲程に下げず商況ヂリヂリ安の模樣にあり京仁の市價も買物なく市況振はず歲晚にて前途憂慮され居れり

廻米減退模樣

正米の出廻りは近時漸く細り行く傾向あり朝鮮郵船會社當局の談に依れば朝鮮方面の諸港出廻の數は十二月に入つて減退傾向にありと語りつゝあるがコハ地方農民の賣物一巡と安値見送りにある如く內鮮各地の正米高模樣は右の事情に基づくものなりと

韓銀新頭取
閔大植氏語る

韓一銀行(資本金百五十萬圓)と京城織物會社(同五十萬圓)の併合實現と共に韓一銀行頭取は子爵閔泳徽氏退任し令息の現漢城銀行頭取閔大植氏その後を襲つた氏は三月ばかり以前に米國紐育より歸鮮した新進の銀行家である往訪の記者に語る

財界も今後の變化は怎うであらうか金利も朝鮮人側は高すぎるとの評もあるやうだが韓一銀行の如き確實な

商業手形 の割引は決して高くはない[illegible]

地方倉庫の不備
米穀藏置場所を增設せよ
有賀殖銀頭取の談

米價の暴落度なきため內地にては頻りに喰止策に品上策講ぜられその一方法として常平倉新設問題は政府にても考慮の模樣である朝鮮に必要如何の質問を以て有賀殖銀頭取を訪ふ曰く

米價の暴落は農民の經濟上にとつて由々しい問題であるが

常平倉を 建て、その調節を講ずると云ふのは長い眼で見て如何なものであらう昨年は米價の騰貴で世論湧き本年はその反對の現象を呈してゐる變化の急激なる實に意料の外である米價の慘落を他の商品並み若くば他の物價に近き或る程度までに調節を講ずるのは必要であらうが一年々々の事情により直ちに適應施設を講ずるのは大いに考へ物と思ふ假りに常平倉が完備し米價がある程度まで引上るとする本年はそれでよいとして明年凶作で米價の昇騰を見る際に逆に農民から常平倉を利用され

狂騰を來す かも知れない夫を防ぐには常平倉の政府管理を必要とするがそれ迄に進めば米の專賣と云ふ問題に觸れねばならないのである朝鮮に常平倉と云ふ如き事はまだ議論も出てないやうであるが予輩の立場より見れば常平倉でも普通の倉庫でも何でもよろしい現在の如く各地に米並に穀の藏置場所が乏しくては金融上に少からぬ遺憾あり當業者として米は持つてゐても金融はつかず金は出來ず債務も拂へねば稅金も納付し得ないと云ふ窮狀に立つ先づ銀行でも開業してゐる場所ならば當然

米穀藏置 場所もあり金融を附し得るのであるが一步田舍に入るとその設備は全く缺けてゐると云つても差支ない我等の銀行でも地方の米に金を出したいと思つてゐても出しやうがない[illegible]に苦しむと云ふ譯である結局所では金に詰つて投賣をするその安い米が米界の氣配をわるくすると云ふ事に落ちて行く今後地方倉庫の增設は政府の力で金融組合に管理さす如き方法に出づるも一方法と考へられこの點に關し研究を進め適當の策を執る必要があらうと

消極的な がら米價の調節には効もあると思はる、

鮮人財界

[illegible]すから鮮銀の利下げなれば當然相當率を引下げる方針ですその時は明春の二三月頃かと思ふ金利は軟弱にあつても農產物がかく下かつては地方農民の疲弊甚[illegible]

鮮人財界 の不況はお話しにならない時局以前十年間ばかりは大豆一石を賣つて木綿一疋を買へたものであるが最近では三斗以上或ば三斗を賣らねば木綿一疋が買へぬ狀態です農產は下る他の必需品は依然高値を續けるでは農產によつて支へられた朝鮮經濟界は大打擊を蒙るに至るべく朝鮮經濟界が農產の豐凶高低のみによつて支配せらるゝ事は實に遺憾と言はねばならぬ絶つて農產以外工業方面の勃興殷盛を企圖する必要が有ると感ぜらるゝ尙ほ最近開業せし[illegible]て湖東銀行の開業ありし目下

拂込徵收 中のものに朝鮮產業銀行を有する京城今日の實力より見れば新金融機關の設立を必要とするか怎うかは疑問であらうと思ふ云々

輕鐵補助
八朱案實現か

朝鮮輕便鐵道補助に關しては今議會に提案の豫定を以て總督府當局に於て立案中なれば或は目下民間にて運動せられつゝある拂込八朱の希望も實現せられ法律案となりて現はるゝに至るやも知れず(東京特電)

野積保管倉庫
愈々廢止

朝鮮線に於ては過般左記各驛に於ける野積保管倉庫を廢止したるが其主なる理由は各地に簡易倉庫を新設したると從來比較的利用を見ざりし倉庫に於ける取扱を廢止せるまでにて一般寄託者には毫も影響なき爲めなりと因に右廢止倉庫に於ける現在保管中の受寄物に對しては期間滿了の時迄之を取扱ふべしと野積保管倉庫廢止驛左の如し

大田、水原、平澤、西井里、天安、汶山、大邱、海道、龜浦、洛東江、開城、新安州、宣川、沙里院、平壤、南川、平康、論山、江景、裡里、松汀里等

民選議員認定
當局苦心す

去る十日擧行されたる京城府に於ける道評議員候補者氏名得票數は卽日京城府より道知事に報告されたるが內地人側は大久保雅彥氏、賀田直治氏の二十九票宛の得點あるを以て[illegible]

佐藤少將講演

別大演習に陪觀仰付られたる鎭海要港部司令官佐藤小二郎少將は十五日夜來城十六日午後一時より龍山偕行社に於て大演習陪觀の所感に付き一場の講演を試むべしと

水產檢査會議

去る九日より本府會議室にて開催されたる水產製品檢査委員會議は十一日を以て終了せり

荒木總長動靜

荒木京大總長は十一日咸陽十三日[illegible]視察の豫定なり

辭令

十日付左の通り發表

[illegible]

千沖漢氏入城
十一日夜

渡日使節團參議員千沖漢氏は隨員を從へ十一日夜特急にて來城一兩日滯在すべしと

立花大將來城

目下南滿洲各地視察中の浦潮派遣軍司令官立花大將は引續き旅行を繼續し十四日朝來城大庭軍司令官と會見の後同夜七時二十分發列車にて上京すべく上京の際は多分管內狀況上奏の爲めなるべしと

王世子殿下へ
三將軍御祝電

今回李王世子殿下陸軍大學に御入學あらせられたるを以て大庭軍司令官淨法寺師團長大野軍參謀長は御附武官金應善中佐宛祝電を發したるが金武官より昨十一日電報ありたりと

水產主任會議
十一日より開催

水產主任技術官會議は十一日午前九時半より[illegible]本府會議室に於て岡崎水產課長以下各道より出席者左の如し

[illegible]

人事消息

▲大阪海外視察團[illegible]
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士)[illegible]

[illegible]

養蠶組合認可

[illegible]設立の件は十二月十一日付認可の指令ありたり

輸出博開催

[illegible]

天氣豫報

[illegible]

セ將軍の英姿今後 奈邊に現はれん乎
（烏蘇里哥薩克ミ將軍）解氷期後の活躍注目に値す

極東に反過激派の赤幟を飜してより一年有半常に風雲到來せず敗殘流轉の悲境にある快男兒セ將軍は此の哈爾賓電驛を通過して南方に向つた、其の際司驛にセ將軍を訪ひたる某氏の談に曰く『セ將軍が日本ミの關係が今日の如くでなくなつた際から今日の事あるは既に豫知して居た處である而して其の間部下數百名のコザツクを

烏蘇里流域に派し所謂烏蘇里流域哥薩克ミ提携すべき準備は著々進められて居た、恰も其の當時日本はセ將軍に對し哥薩克を基礎とし、且つ哈爾賓なるゴンダツチ將軍を提携して同一天の事業を試みては如何ミ、慫慂したのであるが併し不幸其の當時迄は兩者の諒解が出來なかつたが、今回愈々セ將軍が破綻後の居だまりとして居た滿洲里を撤退せねばならぬ樣になつた結果ゴンダツチ將軍ミの間の諒解は米國を通じて圓滿に成立した、されど此の

結氷期間中は如何ともする事は出來ぬ。そこで敗殘の身を遙に安全地帶たる〇〇方面に運んだ譯であるが一度解氷の曉到らばセ將軍の英姿は奈邊に現れるであらうか、之れは今言明することは出來ぬセ將軍は今〇〇にありミ雖も周圍の事情より或は長く其の地に止まることの出來ぬ事情が起りはせぬかミ思ふ、部下の某々等は十日を出でざる間に多分セ將軍を〇〇方面に迎へるであらうミ

推測されぬでもない要するに爰十數日間は最も注意すべきの時であるミ思ふ（奉天）

銀塊取引と 小切手代用問題
安東商議と安東總商會の協定

安東縣に於ては民國商人間に於て常に硬貨（鑶）の流失するを顧慮し其の流失を防止する事に腐心し本年春頃より總商會ミ貯蓄商會ミの間に折衝しつゝありしが最近に至り愈々其の徴候顯著なるものあるを以て今回安東商業會議所に對し左の如き通牒を發したりミ

拜啓本年五月上海より現銀の廻送を得之れを當地市場に撒布し現銀による取引の便に供せしが其後數ケ月にして市場の現銀流通高を減尠致し候處同品の流失するもの多きを發見致し候若し至急其の流失を防くにあらすんば日ならずして其の流失の爲め市場流通現銀の不足を告げ民國七年の轍を履むべき事明白に御座候就ては弊會は本月二十八日特に會議を開き各商は現存現銀を商業儲蓄會に預託し之れにより仕拂手形を發行せしめ商取引の決濟に供し現銀の流失を防止する事に全會一致決議致し候に就ては貴商業會議所も亦相當の機關の轉運を乞ひ貴國銀行に預託せしめ大正七年十二月十日中日協定第一項第二項第四項議定辦法により雙方一致市場流通現銀の永久確保をなし日支商業の共同利益を保護致し度候間御贊同被成下度候得貴意候也

民國七年十一月三十日　安東總商會
會長　李
副會長　于　希　海
安東商業會議所御中

依つて安東商業會議所にては去る六日午後二時より役員會を開き其の問題に付協議する處あり越えて八日午後一時より安東公會堂に於て總商會長李興賢副會長于希海及萬圭安東商會貯蓄會代表王建極安東取引公司總事范先和の五氏商業會議所側より中野會頭藤平副會頭泉高橋藤田の常議員安東信託公所大田事務採木公司より若原參事岡本度支課長彦山商業會議所書記列席の上諸々折衝する處ありしが結局左の意味に於て協定をなす事に決定し午後四時頃散會したり

協定事項

一、小切手流通の件は之を承認す
二、小切手發行限度は支那側は總商會日本側は商業會議所に申出で双方に於て承認を得たる額こす
三、硬貨の流失を防止する事は日本側も充分同意し之に對し相當方法を執る事
四、今日迄硬貨にて取引してありしを突然之が中止を命ずるは不合理なれば既往十一月二十七日以前の取引に對しては小切手發行者が責任を負ふべき事
五、個人商人の發行する小切手に對しては連帶保證又は銀行が責任を負ふものとす
但し此の場合は銀行が支拂ひ保證をなす事
六、期限は一ヶ年とし支障なき場合は之を繼續し支障を生じたる時は更に協定をなすべき事

夜半命令一下！ 仁川署の總動員
非常警戒は事故防止ミ署員訓練の爲め

九日午前二時萬象悉く眠り星光爛こして寒天に冴ゆる夜半仁川警察署非常召集は行はれた新に制定された召集規定により赤色與形に召集傳票が配付さるゝミ

變裝角袖の署員は時を移さず本署に集まつた、聽で小牟田署長の訓示が濟み一般方略が授けらるゝミ午前三時五十餘名の應集署員は一齊に出動開始巡邏張込み或は臨檢ミ寂然たる眞夜中に各々警戒の任務に就いた、歳も暮に際し强盜竊盜の跳梁すべき時節柄之れを未然に防止すべく浮浪者の檢擧から眼星い搜査を行つたので獲物も相當の數に上つた、其夜此の嚴重な警戒線中に飛び込んだ曲者は果して何者であつたらうか午前四時頃まだ曉の光りも

射さぬ暗の中に地下足袋に筒袖の尻端折り大きな包さへ小腋にしたる覆面の男が桃山の麓に張込む警戒線を潜り蒐つた、警官は透かさず之を誰何するこ件の男は悠々ミ顧みて聽て又足早に過んとする此奴胡散なりミ近づかんとする時賊は危しと見たるが一散に逃走して富川郡の畑中を驀進し人家を離れて郡廳街道に姿を沒せんミした已れ逃してなるものかミ追跡したる二名の巡査があはや近づかんミする時暗中一閃凶器を閃かして逃げつゝもぶらば刺さなん權幕に尚も追ひ捲つて遂々

平山農場附近の山に追ひ込んだ、すると此賊何を思つたか小癪なりミ抵抗の模樣を見せて小石の上にドッカミ腰を下した追跡の二巡査はあはや格鬪を演ぜられんとする時東天漸やく明けて四邊朦朧ミして暗から拔けた覆面を脫いで一笑すれば此の兇賊は正しく變裝せる僞泥棒であつた、斯ふして各所に眞劍の格鬪が演ぜられたが午前八時警戒解除の命に一同引揚げたが今回は新任巡査の多いにも不拘頗る好成績を示したミ（仁川）

運搬賃の値下げに
不平を抱いて鮮人勞働者ストライキを起す不日解決せん

仁川の鮮人側糶揩業者を以て組織せる米商組合は十二月八日より穀類の運搬賃一個に附き二錢方の引き下げを決議實行するこことなりたるが之に對し關係勞働人夫は

不當を唱へて 罷休し重立ちたる二三の代表は交渉陳情を爲せるも遂に容れられず九日尚休業み繼續せり問題の內容は從來仁川柳町糶揩場所在地ミ斗量場間の運搬賃糶一俵十二錢玄米一俵九錢の割なりしを二錢引き下げて糶十錢玄米七錢ミし其の割合を馬車に四錢搬車に三錢を收得せしめんこしたるに對し勞働者側は之に不平を抱きたるも米價低下の今日幾分の引下けは當然なりとの理由の下に七錢の實行を承認するに至りたるも其の割前に於て當然馬車ミ同樣

三錢五厘宛 の取得たらざるべからずミ主張し此間穀物協會側よりも厚意的に仲裁の勞み執り米商組合側並に勞働者の代表を引見して遂に一歩を讓歩し五厘を引上げて馬車四錢搬車三錢五厘の割合ミする事になりしも今度は言を左右にして前言を無視し勞働者は附け込みの態度に出でしより全く交渉不能こなり遂に斷然之等の人夫を使役する事こして立ち別れたり勞働者に在りては大體に於て其引下げは當然なるを認むれ共一二錢方の引下げは餘に無謀なりミ云ふもの、如く殊に勞働者は常に

米商組合所屬 の一局部に限られたる値下けに非ずして聽て之一般全體に亘る影響なりミして外部より相當の刺戟を與へられつゝあるもの、如し而して一方米商組合は從來比較的高價の運搬賃を支拂來りたる嫌ひあり今日二錢の引下けは米價のそれに比較しても充分なるミ考の理由ありミ主張せり恐らく兩三日中には解決を見るに至るべきか因に客主組合に於ても旣に値下け實行に關して協議しつゝありミ（仁川）

京城郊外觀（十五）
龍山と江上　閑根生

●龍山●麻浦●間●翠緑の●高臺●
●將來の京龍ミ江水の接觸●

私は次に龍山及麻浦方面に移らねばならぬ、京城市街が夫れゝ取まける翠緑ミ其裾たる丘阜ミの西南の間隙を出で江岸に延びたるが如き龍山に於ける風致並に其郊外美自ら斷て後方京城を取まける翠緑の餘蔭ミ其餘勢たる高臺上の翠緑ミ及江岸の三ツミに外ならぬ、江岸に接せりミ雖も龍山市の大部分は、一大土砂地域に依り、隔てらるゝが故に直ちに其江水の美を恣にする事が出來ない、併し龍山は江流の一大屈折をなせる地點に展開せる事であるから若し西氷庫邊からの上砂地がなく現在鐵道線路邊より直に茫洋たる江水に接して居つたならば、龍山は正に一大水郷たるべく、或は又同時に一大工業地たるであらう、兵營を以て其胸腹を占め停車場を以て頭肩の邊を領したる龍山市の市街的發展はこうして麻浦方面に其双腕を延ばさねばならぬ、然らに麻浦ミ龍山ミの間には京城竹添町邊より江岸に迄延びたる一大高臺が横はる去れば龍山をして麻浦方面に擴大せしめるには此長大なる高臺の一部を崩壞し去らねばならぬ一部ミは龍山方面に屬する部分であるが幸ひに同方面の夫には概して低小である但し現孝昌園一帶の松樹林の高臺は將來の市民が稷々の松籟に其俗塵を洗ふべき美しき自然物であるから之を殘すべきは私が云ふ迄もない事であるが私は市に先端江岸に臨める高丘一帶は江上及前方一帶の大觀を恣まならしむべく之を殘さねばならぬのみならず之に加工して前記公園ミ共に龍山の一名所たらしめねばならぬ事ミ思ふ、然するこなれば少くこも現在の鐵道線路より江岸迄の高臺は殘すの要があらう、新義州安東行きは遠からず龍山を迂廻するの必要がなくなる事であるから、龍山市街が麻浦方面に擴大する事に對して又一ケの障碍物が無くなる次第であるが、宜しく此線路より孝昌園附近迄は、其横はる山丘を崩壞し去つて同方面が京城の一大工業地區たるべきの機運を促がすべきであらうミ思ふ現孝昌園及附近一帶の地勢はや、單調ではあるが可なりの廣さを有するから將來更に之に各種の技巧ミ施設こを加へたならば、龍山の誇るべき大公園たる事は疑ひない、竹添町邊より起り江岸に向つて連亘する叙上の小大山丘或は、高臺は麻浦街道ミ龍山街道ミの中間を走るものであるが、將來市山丘の一部面が、上述の如く崩壞し去られて、龍山麻浦は一帶この街區の作られ或は幾多工場等の設立を見るような時分になつたなら既は竹添町邊に於て朝鮮貴族、西洋人、富豪及び舍宅等に依りて景勝を占めて居るミ同樣に、內部の方面に向かつて亦幾多の邸宅式建物が作らるゝ事であらう、麻浦街道の方面に於いて殊に其餘地が多大である、同樣の曉には同街道右側の山岳並高臺の美しき一帶が捨て、置かれぬ事は又云ふ迄もない、現に幾州通りに近い一帶の山岳上には、幾多の邸宅式建物が聳へ立て居り又風雅な田園生活を試みて居る者もある麻浦街道の右方高臺に總督府醸造試驗所の作られたるは、實に其水の濟きに困ると聞いて居る、向ほ麻浦及び其下流江岸地方に幾多の工場が設立せらるゝやうになつたら夫等の美しき山丘の松翠の間には、又た會社工場員等の舍宅住宅等が多數に點見さるゝに至る事であらう、而して叙上の大公園が其三方面龍山麻浦の大市街に依て圍まるものこなるべきは云ふ迄もない、龍山鷺梁津間人道橋上よりする江上の眺望は閑麗なものである、京城八景の一であるさうである、同眺望は裏南山江岸の高臺上より眺むる程の雄大味はないが、京城に於ける水景の最も美しきものである事は疑はない、旣にさゝやかながら其施設もあるやうであるが、將來は更に同水邊に臨んで江上風月を收むべき幾多の料亭や茶亭が作られ南山裏江上の夫れミ共に市民遊の地たるべきは豫想し得らるゝ、龍山方面に於ける郊外美並に市街の將來ミ交渉すべき自然美に就いては、私には大體に於て叙上の如くであるが併し龍山及び麻浦に於ける水害防禦に對する將來の施設の如何は、又將來の市民をして如何にして江岸の自然美を味はしむべきかの新なる施設を生むであらう、水害防禦施設を如何にすべきかに就いては、私の知らない處であるが、施設は旣に洪水の恐れなしミ云ふ假定の下に、私は尚上は西氷庫方面より下は麻浦下流方面迄の間に於る兩岸に或は遊山近水を喜ばしむべく、江上の淸遊を便ならしむべく幾多施設の注文を持て居るが、水害防禦大工事が如何ような技術的變化を江岸に生ずべきかを知らぬ前、之を敢てするは無益であらうミ思ふが故に之をせぬ、併し惟ふに將來の京龍市民が其大部會の建設に當つて、如何ように龍山方面の江上の自然美ミ、近昵すべきかは、興味ある題目であらう

大田道路修築

大田郡に於ける各面の道路は冬期に際し泥濘となり交通上不便甚だしきより郡廳にては來る十五日より二十日迄の間に於て夫役に依り砂利敷工事を施し橋梁暗渠等の破損の箇所も亦相當の補習工事を全ふし一般交通上支障なきを期する樣各面に督勵する處ありたり（大田）

府金庫變更

仁川府並に學校組合金庫は從來百三十銀行仁川支店に於て取扱ひ來りたるが行務の都合により辭退せるを以て新に商業銀行仁川支店に變更の事となり九日より同行に於て取扱を爲せり因に百三十銀行支店の永年に亘る金庫事務取扱に對し吉松府尹は二木支店長に感謝狀を贈れりミ（仁川）

內地人側は一割下げ
陸上運搬賃

仁川に於ける陸上運搬賃は過日協會側ミ運搬業者ミの間に交渉を爲したる結果時勢に伴ない自發的に運搬業者より一割方の値下けを承諾十二月一日より實行する事こなれるか更に來る三月よりは五分を引下げ都合現在よりも一割五分の引下けを爲す事こなれり之を以て改正の運搬賃中一般の關係深きものゝ率を擧ぐれば日役從來二圓五十錢なりしものゝ二圓七錢に當番二圓が一圓八十錢に夜番一圓四十錢のもの一圓二十六錢に夜警は二圓が一圓八十錢に各々値下けしたり（仁川）

野口日主師

熊本法華宗監督布教大僧正東洋大學講師野口日主師は歸國の途次九日午後七時五十分着列車にて來着信徒多數の出迎ひを受け直に大廳町天晴地明會の主催に係る商工俱樂部に於ける講演會に臨めるが一泊の上十日も俱樂部に於て日蓮讚仰の主義宣傳の講演を爲したり

執達吏事務 繁忙
殆んと鮮人

米價の不況に依り一般農家の金融逼迫到る處甚しだ這は獨り大田のみにあらざるが此不景氣に依り大田に於ける執達吏事務は非常に增加したる爲め大田警察署にては近來之が事務に忙殺せられ居れり今十一月中への取扱件數は執行件數假差押へを合して四十九件の多きに達し之れを昨年の同月に比すれば十四件の增加を示したるが十二月に入りては一層其數を增したるが之れが被執行者は殆んこ鮮人なりミ（大田）

坑木會社總會

鮮滿坑木株式會社第一期定時株主總會は來る二十二日午後一時より安東公會堂に於て開會さるべきが當期の成績は頗る優良なるも株主の利益配當は多少限度に限らるべしミ（安東縣）

大邱名物 藥令市

大邱の名物こして壯觀を呈すべき大邱の藥令市は愈々十日より向ふ一ヶ月間南城町より明治町に亘つて開設されつゝあるが九日夜來全鮮各地方の取引客續々入込み來り市內は爲めに殷盛を示し市況又頗る活氣を添ゆるに至れり殊に宿屋（飲食店）に於ては非常なる多忙を極め居れり大邱警察署は前例に鑑み市內の宿屋及飲食店營業者等を九日午後一時同署に召集し夫々遵守すべき營業規定を達示し尚藥令市期間中に於て不當の利を貪るが如き事なき樣懇諭する處ありしが斯の如くにして約四百餘の藥業者が該市ある爲め其の藥業に大なる貢獻ある事を思はしむこ同時に當局の意を諒こして引退せり而して右の開市は歳末に於ける大邱の商勢に大なる好影響を與ふるものなり（大邱）

電車詐欺師 檢事局に送らる
山科伯は眞物

稀有の詐欺師空閑正雄事平井茂は及七日平壤警察署の取調終了したるを以て同地平壤地方法院檢事局に一件書類ミ共に押送されたるが同人は平壤署に拘禁中殆んご絕食の有樣こて押送の際は擔荷にて送られたり因に問題の京都山科伯は其筋にて取調の結果眞物なることゝ判明したるが本事件は今後一層驚異の展開を見るやも知れずミ（平壤）

伊吹氏招宴

大日本製糖會社理事伊吹震氏は九日午後六時より平壤記者團を大同館に招待し忘年會を兼ね一夕の宴を張りたるが非常の盛會なりき（平壤）

華嚴寺行（四）
猛獸狩の記　全州支局　曉天生

◯明くれば十六日未明より起き出でて狩獵に出掛け雉子鴨を羽撃ち止めて下山せしは午前十一時頃なりきこれより先記者は折角出獵して何一つ土產が無くては話が出來ぬミ思ひ寺僧に就て寺の歷史を調べた茲に僅かばかり紹介する事こしやう

◯此の寺は全州郡雲東下面に溯り山を登る事八十丁程の處に在り道の險阻なる言語に絕し岩角を削りて道をなせし處もあり全山大樹多く一本の樹木五萬圓位のものあり四季の景色の佳絕なる南金剛の稱あり

◯同寺は今より一千六百年前新羅羅唐の太宗貞觀八年新羅善德王の即位三年甲午歲に華嚴初祖敎國師號緣湘及び和靜國師名を元曉こ云ふ人の開山である、現に寺の前に餘り大きくもない槐に似た一本の木があるが歷史には緣湘が中國に遊びし際に種を持ち植たるものなりこあるも寺僧の說に依れば緣湘が根を卸し今日の如きものになりしとも云ふ名を稱欅こ云ひ一千六百年を經たるものなりこ同寺は數町の森林及び水田を有し裕福にて偶々居候なご來るものミ見ゆ狼食帳ミ云へる居候帳も備へてある

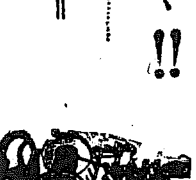
◯現住職は金剛山の某寺より來りたるものにて名を金萬應こいひ當年廿七八歲內地の文物を慕ひ來年は京城に出で內地語を半年間研究し其上にて東京に行き東洋大學に入るこいつてゐる

◯華嚴寺は全羅北道で古き寺第一位なるも財產の點よりして錦山郡に在る寶石寺を第一位こし第二即ち此寺は寶石寺の別院なりこ斯く調べ終りて一行に雲東下面駐在所にて解散し余等全州黨は午後四時高山石川警部補等こ袂を別ち澤山の土產を背負八里の道を疾走して全州に歸着せしは六時頃なりき（了）

內科 小兒科 外科 花柳病　仁川宮町　松本醫院　×光線科 電氣科　電話三四五番

內科 胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一三九〇番

生等時勢ノ要求ニ鑑ミ共同事務所ヲ設置シ左ノ事務ヲ懇切叮嚀ニ取扱申候
事件ハ必ス三名共同研究致候ニ付キ一名ノ辯護士ニ對スル費用ヲ以テ三名ニ依頼シ得ル效果有之候
△訴訟事務（民事 商事 刑事）
△仲裁判斷
○鑑定及和解
○契約書及定款等ノ起案
○會社ニ關スル法律事項
○事務信託及管理信託
切山 金 堀 共同法律事務所開設　京城府黃金町一丁目百四十三番地　電話一一三八
前京城覆審法院判事 辯護士 法學士 切山篤太郎　京城府黃金町一丁目百五十九番地（電長一八六九番）
辯護士 法學士 金雨英　自宅 京城府崇二洞九十六番地（電長三三四一番）
前京城地方法院判事 辯護士 法學士 堀直喜　自宅 京城府旭町二丁目六十三番地（電五三二番）
今般京城地方法院判事ヲ辭シ右ノ如ク辯護士ノ業務ニ從事致候　堀直喜

他にありや!!　製繩機……　—特價提供—
壹臺 正味 金貳拾貳圓　貳百臺限 後ナシ
京城 戶田農具株式會社　此外各種在庫　電話長三八六番 三〇六五番 三七五番　振替京城


石炭各種 直移入貯藏豊富
鳳山炭 特約一手販賣
官營煉炭 開城以南一手販賣
東亞商工株式會社　京城府古市町四拾參番地　電話長（九四二）（七〇七）（一六九）　大邱出張所 電話長三四二番
木材 貯木豊富 製材所完備
セメント 小野田工場産 特約販賣
石灰
建築材料、各種取揃便利供給

織元から　多數商人の手を經ず直接
◆伊勢崎織銘仙（特製純用）十一圓　（同 乙）九圓五十錢
◆節糸銘仙縞 六圓
◆同絣
◆實用銘仙絣
◆純絹大島絣
◆純絹高貴織
◆無双縮緬縞柄地
◆縮緬兵兒帶 五圓
合同織物販賣

賞讚銘柄　精釀味淋　九重　石川八郎治

專賣特許　ケイフ　一名ふき子さん　理想的硝子ふきん　大金十八錢　小金十二錢　送料一枚二錢　京城日報社代理部

御早が德　整理大提供　時機は今　四割　特別投賣　東京日本橋　田中製靴

近く大將に陞進する 大庭將軍の平生

毎日裏山で木々の下枝を拂ひ 荊棘を刈るこそ抱負を語るものか

毎夜老母と愛兒へ慰めの手紙 春を待つ將軍の留守宅

本社東京特電は大庭軍司令官の大將進級を傳へてゐる、來る二十八日大谷浮久毅大將の停年滿期と同時に大庭軍司令官の進級を見るべきは既定の事實である。風趣がしき鷄林八道の天地を睥睨して威風四遐を拂ふ將軍の職掌に就ては知る人もあるが其の平常に就ては知る人も尠いから

茲に其の半面を紹介仕度い

將軍は大抵東がほのぐ〻と白みかけると床を離れ洗面後軍服に着換て東方に向ひ禮拜し默禱する。それが終ると霜白き路に靴の跡を印しながら暫く散歩してから午前八時朝食、朝は大抵パン二切れにミルクだけである、それが濟ますと書齋に入り内外の新聞に眼を通す。

書齋は應接間の次の一室で

宇都宮大將の軍司令官時代には矢張り應接間に用ゐてゐた部屋である。デスクの上には右に乃木大將左に桂公爵の寫眞が相對峙し其中間には山鹿素行の『中朝事實』や『名將言行錄』などが能く備かれてある、向つて右の壁には將軍の家族の爲に書いた山縣公の書、中央には乃木大將が殉死四時間前に

特に將軍にこそ書き與へた書

左の壁には吉田松陰の書が何れも軸として懸けてある。昨今は白菊の花一輪が淸い匂ひを部屋に籠めてゐる、新聞に眼を通すと乘馬で登廳、寒い日にはテクく歩いて登廳する事もある、晝食は官邸から給仕の持つて來るバスケットの辨當で中は大抵肉が一皿とパンだけで、幕僚と共に食堂で打融けて語りながら

書齋に於ける大庭將軍

ナイフを動かすのが例である

午後三時半退廳、必ず徒歩で腕を振りながら官舍町を散歩したり朝鮮部落を覗いたりして歸り直ちに錄を以て裏山に登る、徒らに繁るに任せた裏山には栗だの茨だのが派遣兵士の通行の邪魔してゐるので其の枝を伐り採るのが昨今は運動の一つとなつてゐる、此程も將軍を訪問して

書齋には姿が見えないので

裏山だらうと思つて後庭に回ると松林木立の中から木を伐る音がしてゐる。登つて透して見ると將軍だ、汗みどろとなつてゐる『大變なお元氣ですナ』と云ふと『イヤ何、荊棘を開いてゐるんだ』と快刀亂麻を斷つ勢ひで下枝ばかりを苅つてゐた。それが一頻りして終ると書齋に入り

書見をしたり手紙書いたり

訪客があれば接見したりして夕餉の膳に向ふ、晩は日本食で純良な葡萄酒を一二杯、酒の肴には必ず酢の物が付くと是は將軍何よりの好物だからださうな、心の合つた人でも來ると日本酒の盃を傾けて夜を更かす事もある。陶然として醉へば必ず書齋に入り、軸を前にして又一杯遣る事もある、公私の別は

極めて嚴格で

夜は給仕にも

用事が無いからとて夜學に通はせたり武術を勵まして身神の鍛練に努めさせてゐる、食後には必らず日に一本づゝ東京の母堂の許と目下尋常三年生で赤十字病院に入院してゐる愛兒正さんの許へ手紙を認めるのを欠がした事がない、老を慰さめ病を勞はる將軍の心は春よりも温かい

將軍は近日中 管内狀況上奏

の爲め上京するさうだ、大將の新裝をつけた目出度い春を迎ふる將軍の家には、一人の母堂が如何に樂しく待ち佗てゐるやう

米國で發見せられた オシジアン桑樹

世界養蠶界の大革新 には違ひないが…… 果して完全に養蠶さるゝか

大阪朝日新聞の報道によれば米國では日本及諸外國より生絲輸入を防遏する目的を以て豫て蠶兒並に桑樹の發見に苦心中今回オシジアン博士研究の結果

巨大なる桑葉を生ずる

桑樹を發見し之れに『オシジアン桑樹』と命名し之れに依る蠶兒を『超蠶蟲』といひ其の繭は普通繭の倍程あり絲量は延長一哩に達する旨發表したと報じ且『其の結果は米國の養蠶界のみならず世界の養蠶界は一大革新を來すべし』と附言してゐる

十時技師談

之に關し總督府蠶業技師十時讓次郎氏は語る『オシジアン博士の發見が果して如何なる物であるかを知らないから確言することは出來ないが假令如何なる桑樹が發見せられ如何なる蠶種が發見せられても米國に於ける勞働賃銀が日本よりも高い以上は斯くも少し勞銀が高くなれば斯の有樣である。況んや米國の如き普通の勞働者の賃銀が二弗も三弗もするのみならず勞働時間の八ヶ間敷く時間制限の嚴重なる國に於て蠶業の如き半夜業を要する家庭的の事業が果して完全に行はるゝであらうか、殊に

養蠶又は製絲の如き

特殊の手工を要する作業が米國人の手によつて完全に行はるゝであらうか、甚だ疑ひなき能はざる所である。假令可能なりとするも日本の如く勞銀安く且系統的に熟練せる多數の女工を有する我國と競爭し得らるゝであらうか、恐らく不可能であらうと信ずる。然れば今回

オ博士發見の

桑樹並に蠶種も勞銀問題の爲に米國では普及するを得ざるべく反て日本を利するに成るであらうと思はれる。

日本產生絲の

米國輸出は從來絕頂當時に於いて内地製絲地では勞銀昇騰して普通人夫には三食を與へ夜食には必ず酒を與へてそして一圓三十錢位を與へたのであつたが群馬、埼玉方面では斯く勞銀が昇騰しては到底採算に合ないからとて事業を縮少した位で高率な絲價が彼にあつた。

李王世子殿下 末松母堂を召さる

李王世子垠殿下には八日特に末松子爵母堂生子刀自を鳥居坂御用邸に召され數刻の間御交話あり故子爵薨去後の御慰問ありたる後夕刻貧富樞密院顧問官及び高等事務官等に御陪食を賜はりた り（東京電報）

獨立を目的の 青年團

金元賢（二〇）同貞砂町二丁目二の四番地姜大五（三〇）同李載淵（二八）同老松町三〇李天運（二〇）（一九）宣川郡宣川邑内李舜興（二〇）の十名は去月二十五日金元賢方に集合し獨立運動を目的として一步を出で同月三十日正午を期し朝鮮町に於て獨立萬歲を高唱し以て一般民に獨立思想を誘起の者等は停車場通りなる眞砂町二丁目附近に於て獨立萬歲を高唱したるも一人も之れに應ずる者なかりしが［illegible］

再び義州で捕はる

平安北道義州郡九津面畑下洞百七十三番地李致健（二〇）は本年六月五日新義州警察署巡査に暴逆せ［illegible］院に於て懲役六年に處せられたるより控訴を申立てたるより七月［illegible］れたり（新義州）

社會主義者

［illegible］

眞有浦の火事

［illegible］

連絡船上陸客

［illegible］三等（二百五十一名）〇十日夜入港壹岐丸上陸客［illegible］

洪思翊中尉 陸軍大學再試驗に合格す

步兵第一聯隊附陸軍省人事局勤務朝鮮出身步兵中尉洪思翊（三一）氏は過般執行の陸軍大學再審試驗に合格したるが朝鮮人にして陸大に入學したる者は氏を以て嚆矢とする由右に付き陸軍省某武官は語る『洪中尉は大正三年士官學校卒業の際も十何番目の好成績であつた非常に頭腦明晰な勉强家である大正三年十二月陸軍步尉に任官同七年七月中尉に昇進目下聯隊附となつて人事局に勤務して居る尙李王世子殿下にも優等の御成績にて陸軍大學へ御入學相成りたれば學友として頗る結構な事である』（東京電報）

看守の竊盜

現在新義州監獄に奉職し居れる看守須田某は數ヶ月以前より自己の下宿屋に於て多額の金品を竊取したる事發覺し目下當地警察署に於て取調中なり（新義州）

恐しい陰謀を企てた ゼット團の公判

判決言渡は十四日 大邱地方法院にて開廷

ブルジョア階級の專橫と九州方面に於ける炭坑の上役人小早川某の冷酷に依り世を慣慨して遂にゼット團なる社會主義的色彩の團結を爲し當路の大官を暗殺せんとの恐ろしい陰謀を抱いて來鮮し不逞鮮人と通ぜんとして遂に大邱第三部の手に逮捕されたる

團長向井昇

外五名の公判は九日午前十一時より大邱地方法院に於て開廷された。定刻田口看守長及び四名の看守に嚴重に護られて悄然と法廷に入れる六人の被告を見るに向井は淺黄色の囚人服に同じ色の帶、倉田山本は同じ色の囚人服に同じ帶を縮め參鮮大津及び坂本は二コ〳〵絣の袷に黑メリンスの三尺帶、入江は木綿の袷に銘仙の羽織、山口は木綿の袷に金鎖まがひの兵兒帶と云ふ扮裝にて孰れも被告席に座を占め多田裁判長は二時間に亘り

證據物件を

突付けて一々訊問を爲し了つて檢事の論告あり元來同團は坂本正行が首謀となり上役人小早川某の冷遇より脫し

朝鮮及び滿洲に於て一攫千金の金儲けを爲し自分が資本階級の模範を示して仙日小早川に面當を仕ようと云ふ單純な考から曾て同人が大邱署留置場にて懇意となつた鮮人と謀り其の理想を實現せんとの空漠たる考を起しそれに他の五名が共鳴し幼稚な思想で周到な用意もなさず此擧に出でたもので社會主義かぶれの色彩を帶べりと雖も一面又た冒險小說等に刺戟された結果には非ざるかとも思考される兎に角被告中には相當なる敎育を受け居り乍ら日本國民として恥づべき行爲を爲したるは實に遺憾に堪へない次第であると論して正行、昇、茂、一枝、三郎は制令第七條第七號

銃砲取締令

第三條第十號に勇平は同令第六條に違反し第十九條に該當するものと看做し刑法第二百五十三條に依り正行及び昇は懲役八年、茂及び三郎は同七年、一枝は同六年、勇平は三年及び罰金五十圓に處せられたき旨を述べて閉廷した判決言渡しは來る十四日の筈（大邱）

盲目、電車で傷く

九日午後十時五十分頃龍山行電車一三二號が錦路五の八一番地先を進行中仁義洞一一九盲人趙明九（三二）が他二名の盲人と共に手を取つて東行する時輕は該車に觸れて打倒れ治療一週間を要する負傷をした

巡查殉職

不逞鮮人に傷けられて

本月一日平安北道義州郡古城面台山洞に於て不逞鮮人を檢問せんとする際彼等の爲に左腹部に拳銃彈を受けた新義州警察署巡查崔道賢氏は其後新義州慈惠病院に於て加療中なりし所數日前病併發し遂に八日死去した依て本道知事は其功勞に對し月俸四十圓を給し同時に巡查部長に昇格せしめ尙精勵手當二百五十圓を給する外左の感狀に金五百圓を添へて授與された（新義州）

感狀　道巡查　崔道賢

大正九年十二月一日午前十一時義州郡古城面台山洞に於て不逞鮮人を檢問せんとしたる際拳銃を以て狙擊せられ左腹部に負傷を受けたるも毫も屈する所なく之れを追擊したる其行動は和に勇敢にして警察官の模範とするに足る仍て感狀を授與す

大正九年十二月八日　平安北道知事　阪尾藤次郎

店子思ひの家主

家賃は八年前も今日も同額 家を悉く店子へ年賦で賣る 鄕里へ引揚げるからと

泉老人の義俠

高利貸、家主と云へば由來世人の嫌はれものとして强慾非道の冷血漢の如く見做され又此種の營業者として往々非道の行爲を敢てするもの無きにあらず殊に歐洲戰亂後に於る財界の膨脹財界の潤澤てふ好景氣の影響は各地の都市に於て

住宅難

を來し家主と借家人の間に屢々なる紛紜を惹起し無情なる家主は物價騰貴に藉口して盛んに家賃の値上を斷行し借家人の膏血を絞り爲に裁判沙汰となり多くは

借家人

の有利なる判決言渡ある現今の世上に於て此處に眞に感心に堪へざる奇特の家主が而も吾が京城本町二丁目七十二番地に居住してゐる名を泉由三郎と云ふ老人である老人は來鮮既に

二十年

を閱し此間孜々として商業に勉勵し巨萬の富を得て七八年前より貸家業を營み八年以前に貸した當時の家賃を今日まで値上せず而も借家人側より家賃値上の

催促

を受けたるも『自分が値上の必要あらば値上するから其の時期まで待つて呉れ』とて頑として値上せず借家人は

泉由三郎氏と其妻

敬慕し

居たが今回家主は圖らずも朝鮮を引揚げ鄕里大阪に於て老後を樂むと云ふので今十二日出發の豫定だと云ふ之を聞いた借家人等は悲愛の如く痛惜の感に堪へざる一面には從來の

破格の

家賃で住へたものゝ若しも家屋が他人に賣却されたる曉には一擧に多額の値上を受くることゝ心中潛かに恐慌を來たして居たが意外にも由三郎老人は『私の遺志だ』とて借家人に對し『各人の住宅を

買受け

て貰ひたい』と申込んだ然るに多くの借家人は家宅を買ふ金を持たず淚ながらに其旨申出でたる處老人は意外にも『借家人の皆樣ならば代金が無いとならば年賦契約をする』とのことに一同

有難淚

に咽んで年賦の賣買契約を締結したと同時に借家人一同から記念の金杯一組を老人に贈呈したと云ふ今の世の中には稀らしい美談である

店子の一人

淚ながらに曰く

借家人の一人である渡邊の魚屋さんは左の如く嬉し淚をポロ〳〵と溢し乍ら語る『泉由三郎樣の樣な家主樣は今の世には藥にしたくも一寸見當りません今から八年前の

家賃を

未だに値上げして呉れないので氣の毒で堪りませんが今度大阪に引揚なさるさうですが借家人が可哀相だと云ふので他人に賣らないで私共に年賦で賣つて下されました誠に慈悲に富んだお方です云々

―京元線―

鶉

朝鮮の鶉は半島狩獵界に於ても近年の發見に係り彼の有名なる旅順の大鶉に比し稍や大にして味も殆ど劣なき由にて昨今の獵期には專門の獵者をさへ見受くるの狀態なるが京城附近の獵場として名高きは京元線月井里、平康、福溪及び鐵原、漢等の沿線一里を出でざる地にして稀には道路側にても見掛くる事あると云ふ福溪方面に向はんとする人は南大門午後五時二十分發龍山午後五時卅八分發列車にて同地に向ひ一泊翌終日を狩獵に費すを最も可とすべく同地には內地人旅館あり其他の地方にも鮮人旅館ありて宿泊には何等困難を感ぜざる由なれば京仁スポーツマン諸君の探獵を勸むと好獵家の一人は語れり

至急電話申込締切

不日抽籤で決定

既報して置いた京城郵便局に於ける第二回至急電話の申込受附を開始して以來一般の景況頗る好成績裡に昨十日をもつて申込受附を締切ることゝなつた、申込數は京城三百十四、龍山三十でその豫定數を超過すること八十九となり止むなく不日抽籤を以て確定する筈である

侍天敎兩派 愈々合併

敎祖水雲大師誕辰記念日に

朴寅浩氏を敎主とする侍天敎本部と金演局氏を敎主とする侍天敎總部に併合さるべき由は本紙が報道せし所であるが來る八日の水雲大師誕辰記念日には宋氏の命に依り本部に屬する敎徒も多數總部の記念祭に參席した其の席上金演局氏は講演し『兩派の分立は去る明治四十四年來にして實に八年に達せり其間兩派は對立して互に敎勢を爭ひしも兩者の間には何等意思の衝突ありしにはあらず兩派が今併合し斯く一室に會同し得らるゝに至りたるは是れ全く先師の賜ふ所であらう宋氏派に屬する諸君は此の誠意を以て參席したるものであるか』とて一同拍手を以て迎へたが茲に於いて金氏は合併の原因に就いて『過般來宋秉畯氏東京より歸るや余に來訪し自分は宗敎界より遠かり居るより本部派敎徒の併合方申出であり余は一應辭退したるも氏の申出で堅ければ之を引受け茲に諸君と見ゆるに至つたものである』云々と述ぶる所あり兩派は從來の曲折を水に流し茲に全く合同するに至つた

紹介

◇釜山の景品付大賣出　釜山に於ける呉服、雜貨、小物の三組合は恒例の年中の一期の年末に際し八日より同三十一日迄大賣出を催す事となり景品は總額金壹萬圓の內一等五十圓十五本二等廿五圓三十本三等拾圓五十本四等五圓百五十本五等一圓千五百六十本七等五十錢二千二百五十本外等とし一圓毎に抽籤券一枚宛呈すると云ふ現金買入高金壹圓毎に福引券を呈する由にて定めし歲末の大賣出しも人の氣を誘ひ大景氣を見るならん（釜山）

義太夫花競べ

長谷川美代八　池田十六

美代八君は斷然出た若手、是れから何う伸びやうかと云つた所、京城の新進中で、嘱望されてゐる一人、十六君は余り稽古に熱中せぬやうだが美代八君よりは大分稽古が古い、だけに巧な所がある、兩君の功拙を比較するので無いが十六君の詞と美代八君の地合の妙所を執つたら面白い物が出來る、兩君の語り風を云へば十六君は急な石段を息急き登りながら時々振返つて下を見ると云ふ風、美代八君はお化粧を凝した田舍から來た都の水際立つた娘と云つた風、是れから振返す事なく登る樣になれば十六君が圓熟の域に達した時、田舍娘の肌が都の美人に成る時で美代八君の聲が長く〳〵伸びるのだ、死に角で一と皮剝かれた時は兩君の活躍する語り口は前途に好く見出されてゐる

ドラッグに就て警告

ドラッグ商會專用の商標は登錄濟

同一又は類似の商標を使用、僞造、模造する者、廣告、看板、引札等に使用する者は五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處せらる

大阪市東區內本町二丁目拾壹番地　合資會社ドラッグ商會　有田音松

破竹の勢ひを以て蔓延し、擴散を逞うしつゝある花柳病患を撲滅して、聊か天下國家の爲めに盡さんことを期し、花柳病專門藥販賣所ドラッグ商會を設立したのは、今を去る十有三年前である。云ふ迄もなく花柳病の豫防は各自の衛生思想に待たねばならぬ、花柳病は他の傳染病と異なり各自が輕視して危險なる地域に踏み込まないなら傳染する憂は些もない、で、商會の目的を達する捷徑は、衛生思想を發達せしむるに限るを信じ、商會の販賣專賣所に病理模型標本陳列室を設け、各種の病理模型を陳列して、一般公衆に展覽せしめ、花柳病の恐るべきことを示したのである、百聞は一見に如かずとやら、商會の病理模型を實見して花柳病の恐るべく忌むべき病なることを具體的に知り得たるもの極めて多く、且機關新聞や全國有數の新聞紙上に衛生思想を鼓吹せしことは世間周知の如くである、此に於てか商會の事業は日に月に發展して全國到る處の都市に販賣專賣所を設置し、今や其數四百有餘の多きに達しぬ。

商會を今日の隆運に赴かしめた予の苦心慘憺は決して尋常一樣ではなかつた、一例を擧ぐれば新聞廣告費のみにても實に數百萬圓の上に出で、目下毎月二萬圓以上の廣告費を支出して居る、商會の製劑が有效なのと、誠實を以て濟生の道を說き、治病を目的として懇切に病者に接して居るので、商會の名聲が頓に擴まり、三尺の童子に至る迄ドラッグの名を知らないものはないまでになつた、此に於てか人の褌で角力をとるべく、新聞廣告もしないで、ドラッグを標榜して、店頭の構造、陳列室の設備、屋上の看板等に至るまで、商會と同型の物を設し、一見眞僞を判別し難く設備し、信用ある商會と誤信せしめ一般の患者を惑はすものが出來た、之を放任する時は商會の信用を失墜し、就いて商會の目的を貫徹することが出來なくなるので、商會の製劑と之れを區別し、商會の製劑を表彰する爲め、專用の商標登錄を特許局に申請した。

特許局に於て審査の結果、登錄すべきものと査定せられ、商會の商標は登錄せられた、故にドラッグの商標及びこれに類似の商標は、他の者が絕對に使用することは出來ないのであるから、商會特効の製劑と一般賣藥と判然區別することが容易である。

商會は一網打盡的に、商會の登錄商標と同一の商標を使用し居る者、或は之に類似の商標を使用し居る者、或は僞造し居る者、廣告、看板に使用し居る者等を、商標法第二十三條第一項に依り告訴する時は、同條第一項に依り五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處せらるべきも、商會は彼等を罪に陷らしむるに忍びないので紙上にて彼等に警告し、彼等をして其行ひを改めさせようと思ふのである。左に商標法の槪要を摘錄しやう。

商標法

第二十三條　左の各號の一に該當する者は五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處す

一、二、三、四、五、六、七略

八、同一商品に關し他人の登錄商標と同一又は類似のものを營業に用ゐる廣告、看板、引札、物價表又は其他の取引書類に使用したる者

前項の罪は告訴を待て之を論す

目下各地に於て、商會の登錄商標を侵害して居る者は頗る多い、今一例を擧ぐれば

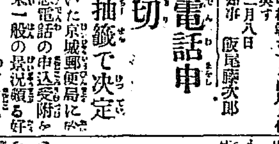
東京ドラッグ商會
大阪ドラッグ
日本ドラッグ
トラック

等の屋上看板を掲げて營業して居るものは、商會の登錄商標を侵害して居るのであるから、此等の廣告看板は一日も早く撤去せねば止むなく告訴する。

商會は上述の如く、出來得る限り人を罪に陷れたくないので、寬仁なる意志を以て此警告を發す、故に廣告又は廣告看板からドラッグ商會の文字又は類似の文字を抹削すれば、既往の罪を追問しない、けれども頑迷不靈此警告に從はない者に對しては止むなく法律の制裁を仰がねばならぬ。

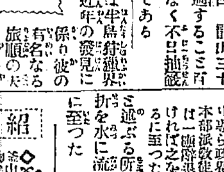
尙ドラッグの事業は有利である所から、支店とか分店とかを募集する者がある。地方の質朴なる人士が、信用ある我商會と關係あるものゝ如く誤信し、資本を投じて開店すれば、忽ち登錄商標侵害で、我商會より告訴すれば忽ち罪人とならねばならぬ、であるから此點からも一般世人に警告する必要がある。要するに『ドラッグ商會』の商標は、商會の專賣所以外の者は絕對に使用することが出來ないと云ふことを心に銘じて忘れなければ間違はないのである。

英式元込自動回轉五發連發ピストル　玩具　ピストル銃



國友社

御召工合良き靴



東京芝區櫻川町　内田靴鞄商店

職業　特約店募集　豐國商會

歲末賣出し　景品も福引も無之候へ共確かに御安く願ます

二圓　五十錢　五圓　十圓位の贈答品澤山

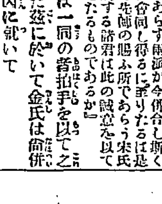
袴地本場名仙外　十二圓五十錢

地方より御注文は即日發送御便利なる商品券有之候

まる三呉服店

京城古市町電話二七四六　畑硝子工場

無代進呈　急告　日米商會



京城本町二丁目　川合時計

内科小兒科　入院隨意　施療す　賀化病院　古城醫學博士

京日案內

高給社員採用　社員募集　春川行賃貸自動車　京江自動車　朝鮮料理海東　北海產栓原木　熊野　恩給年金　江州屋　官廳拂下品　大安賣　南山町本願寺下　堀運送店　土地家屋　自轉車歲末大賣出　都合上　自轉車

新義州で捕はる
團員は悉く

平安北道新義州府若竹町九番地成（二〇）同若竹町九番地崔正華 同老松町四番地朴勝浩（二一）同榮町四番地許允善（一八）同老松町金大□辰初李氏十ノ番地金天麟（二五）は長府團を組織する事を決議し元實を團長に姜大五を副團長に李天運李載源を書記兼團員募集係に金大成を班長と定め先づ謄寫版にて檄文を作成して三十日午前六時頃朝鮮町數ヶ所の電柱に之れを張り出し同日正午に至り新義州署の手に捕はれたり

歳晩情景

耐寒飛行の目的で 所澤から間島へ
飛行研究生を送る
廿日頃に十數名出發 有効な結果を齎さん

所澤航空學校研究部にては耐寒飛行練習の目的を以て朝鮮會寧附近より間島方面に向つて飛行研究生を送る由なるが同團體は渡邊中尉外十數名にして飛行材料携帯來る二十日頃出發の筈なり目下間島方面は尚ほ不安の裡にあれば此の際最も有効なる活動にして同團體の所屬は北滿警備中の長島飛行班なるべしと（東京特電）

巧妙な贋造紙幣
全國に亘り流用さる
既に百六十一枚を發見した 犯人根據地は大阪？

不景氣風に見舞はれた歳末に際して極めて巧妙なる贋造紙幣が全國に現はれて來た贋造紙幣は大正七年印刷せるものにして去る九月三十日大阪日本銀行支店に於て發見せられ以來今日迄に百六十一枚を鼠して居る就中昨今其の流用激増し今や全國に於て七十萬以上の贋造紙幣が流通されて居る此の紙幣は素人には鑑別が頗る困難である。一味の者の根據地は大阪なること既に其筋に於て突止め目下極力犯人嚴探中なり（大阪電話）

愛婦朝鮮本部は 慰問袋の山
各地各種の婦人會では獻身的に努力してゐる
李王妃殿下の御寄贈

愛國婦人會朝鮮本部主催に係る國境方面警備の警察官、憲兵等に對する慰問袋募集の計畫は時が時とて一般の頗る歡び迎ふる所となり斯樣な時でなければ警備官の獻身的努力に酬ゆる時がないとて各地方に於ては各種婦人會等が主眼となり色々の催し事を開催して金品募集に努めてゐる同會今回の舉が發表さるゝと共に總督並に政務總監夫人は大橋主幹を呼び直ちに各金一百圓宛を贈與され又李王妃殿下よりも同樣金一百圓の御寄贈があつた十日迄の成績によると總額二千四百

餘圓に達してゐるが廿日頃までには各地方の分が京城本部に到達するので、

總額一萬圓位 には達する見込であるさうな主なるものは

▲朝鮮銀行金三百圓▲鐵道管理局金二百圓▲東拓、殖産銀行各金一百五十圓▲三井物産、第一銀行京城電氣各一百圓▲朝鮮郵船、實業銀行、漢城銀行各金九十圓▲京城□蓮宗護國寺婦人會五十圓▲馬山佛教婦人會金百七十圓三十錢▲京城新町遊廓事務所五十圓等であるが其他淨法寺師團長並に其の家族、總督府會計課、同税課、法務局、步兵七十九聯隊經理部等の

職員及各家庭 其他京畿地方の個人より慰問袋一個乃至數十個の寄贈があり愛國婦人會事務所應接間は現品の山を築いてゐる

水道課から見た 京城の奥樣方
水道に對する觀念が薄い
今年こそ斷水させないと 課長以下總出の活動

結氷期になると京城水道は漏水放水の結果、水栓を結氷せしめて制限給水になるのが毎年の例であるが京畿道水道課では本年こそ斷水させざる意氣込で十一月頃より各種の宣傳やら水栓の改善やら活動を續けつゝあり更に十二月一日からは

秋田水道課長 以下技術員總出で府内各戸の水栓の檢査を初めた稍であるが水道から見た京城の奥樣に就いて秋田水道課長は語る『一般的に京城の奥方が水道に對する觀念の薄いのに驚きます此一日から府内各戸から水栓を見る爲め廻所を伺つてゐますが水道係ですといつて訪問しても水道に就て注文やら苦情やら話て頂いた所がありません。大抵は

下女が相手で 奥樣は遇つて呉れぬのです又水栓の故障檢査にも立あつて呉れません ので止むを得ず職名の名刺を出して御話を願ふといふ始末です 概していへば商家の妻君はよく水道の故障などを説明されますが官舍の奥様は會ふことも出來ません。殊に水栓が僅々十日間で府内の一部を檢査した丈で約三四百の故障を發見しました

然も其の故障 は大抵一箇月以上も前の故障ですから驚きます我々は著々此故障を修理してゐますが此の私の經驗からも是非共一般廚房の御婦人方に水道の水栓は自分のものである から絶えず周到なる注意を御願したいと痛感しました

愛國團事件 一審公判
十一日開廷

江原道鐵原方面に根據を置き要國團と稱する不逞の徒發給相德外二十六名に對する第一審公判は十一日午前九時頃より京城地方裁判所に開廷傍聽席は滿員なり小野寺裁判長係、水野檢事立會、被告辯護士八名出廷二名の被告に對する事實の審問を了へ直ちに水野檢事の論告あり被告等は大正八年三月一日所謂獨立運動の氣勢昂るや率先して愛國團と稱する美名の下に盛んに不逞行爲を敢てしたる國家の妨害者なりとて左の刑罰を求めたり

被告金相德、申鉉九、趙鎔大、申尚玩各懲役五年、文鳳儀、李根玉各四年其他は順次三年以下六箇月

不逞鮮人逮捕
順川署にて

去月來平安南道順川郡順川面方面に鳥より入り込んだ不逞鮮人徘徊せる事を探知したる所轄順川警察署にては極力之が檢舉に努めたる結果同月二十七日數名の不逞鮮人を檢舉し取調べの結果尚ほ十數名の同類潜伏せること判明したるより同署員は晝夜の別なく之が搜索に從事中なりしところ去る七日午前十時頃前面一里の某飲食店に舉動不審の鮮人數名を發見したるより署員は直ちに該飲食店を取り卷きたるところ、敵は隱し持ちたる拳銃を發射して警官を狙擊したるより警官も之を應戰し逸に數名を逮捕したるが尚數名の鮮人は拳銃を發射しつゝ何れにか逃亡した其際逮捕に向ひたる鮮人巡查一名は賊の彈丸にて腹部に負傷した（平壤）

逃げた曲者
護送の途中

手に捕はれたり（新義州）獨立を標榜し強盜を働きつゝありしを石下駐在所巡查の爲めに捕はれ審理の結果新義州主計法たる走行方不明となりしが去る八日同郡古津面仙下洞内を徘徊し居たるを再び石下駐在巡查に...

馬賊闖入して 邦人二名を撃つ
長春の人心恟々たり

九日午後五時半長春附屬地吸町二丁目大倉組配下土木下請負業大田常吉（四七）方へ拳銃携帶の七名組の馬賊襲來夕食中の常吉及び登子渡邊秀雄（三〇）を射擊負傷せしめ現金二百七十圓餘、金指輪、金時計等盗奪逃走せり常吉は左手に負傷せしのみなるも秀雄は右下腹部に貫通銃創を受け生命危篤犯人は同家と苦力賃問題にて遺恨を懷ける苦力等の手引きせしには非ずやとの疑もあり目下其筋にて嚴探中、尚ほ十日午前七時又鐵道北雜貨商に七名組の強盜侵入吉林官帖其他多額を强奪逃走せる事件あり其筋にて警戒に努むるも彼等の出沒巧にて殆ど連日被害續出し市民の不安少からずと（長春特電）

伏見宮中尉 御風邪

軍艦霧島御乘組の海軍中尉伏見宮博義王殿下には御風邪のため九日佐世保海軍病院に御入院あらせられたり（東京電話）

郵便遞送人を襲うた ピストル強盜
行嚢を開けて見て 内地語で『駄目だッ』と叫んだ
郵便物には異狀なし
被害當時の詳報

既電の通り利川長湖院間のピストル強盜事件に就てその詳細を聞くに去る七日利川、長湖院間遞送人林明植は規定の如く長湖院郵便所より

午前五時 遞送人林明植に行嚢一個此重量六百匁（在裡名赤行嚢一個在中書留四通普通郵便物約二十通小包なし）を携帶せしめ差立てたる處同日午前七時半頃に至り同遞送人は豫て支給の帽子、合羽、行嚢携行用の帶を携帶せず且草鞋片方のみ穿ち行嚢のみを携へ

其旨直に 長湖院警察駐在所へ急報し一面所長は關係遞送人を被害地點なる長湖院を去る約一里院下橋に至りしに果して被害の現場と認むべき足跡あり且つ遞送人が遺棄した草鞋の片方の

狼狽の體 にて歸所し強盜に襲はれたる旨申出たるに所長は直に該行嚢を檢査したるに封印用の小紐を掻切り行嚢紐は之を解いて行嚢を開きたるものゝ如く在裡品赤行嚢は勿論通常郵便物も把束の儘となり何等異狀なかりしを以て

遞送人の陳述

鞋の行方は該橋の下に在り又帽子、合羽は既に道路上より拾ひて當行に屆出でんとする途中にて之を受取りたるも行嚢携帶用帶のみ終に發見せざりしと云ふ被告狀況に就て關係遞送人の陳述する處を聞くに『午前五時行嚢を所長より受け取り直に出發した所長湖院郵便所を去る約五町

利川道路 に至る頃一牛車夫に出會し同道して太平洞に向ひたるが約二十町位を過ぐる頃後方より杖に風呂敷包を負ひたる大男に追附かれたるを以て行き先等を尋ねたるも唯『ウン』と答へたのみにて何事をも言はざりしが

院下橋を 通過するや突然一發の銃聲起り彈丸は遞送人の頭上を掠めたるを以て驚き直ちに死を裝ひて其場に倒れたるに加害者は更に同行の牛車夫を射擊して背部に盲貫銃創を負はせたるに彼又現場に倒れたる際行嚢を開き在裡品を見たるもの丶如く

内地語で『駄目だッ』と
いひ乍ら牛車夫と林遞送人を破に罵落し更に短銃を擬せんとするや樣なりしを以て隙を窺ひ逃走し夜明くる頃に至つて現場に行き該郵便物を拾ひ歸所したる次第なりと云ふ

釜山に重大事件
釜山陸署活動す

釜山陸署にては昨年來重大事件發覺し本月初頭より之れに關聯を通ずる連累者ある見込みにて犯人搜舉の爲め野村高等刑事課主任、森警部補、坂井巡査部長以下各高等刑事一齊に各方面に亘り秘密裡に大活動を開始せる模樣なるが該事件の内容に就ては未だ報導の自由を有せざれば追つて詳報すべし（釜山電報）

社會主義同盟會
解散を命ぜらる
堺、□川氏以下五十五名引致 場内騷擾を極む

東京社會主義同盟會は十日午後五時より神田青年會館に於て開會入場料三十錢を徴集し定刻には無慮三千名の聽衆あり大庭氏開會の辭に代へて挨拶をなし至るや出張の錦町署長は直ちに解散を命じ場内忽ち騷擾を始むるや鎭撫に來りし警官に頑強に反抗し騷擾を極めたり（東京電報）

來たしたるも場の内外に肉薄し居たる二百餘名の警官に鎭撫せられ堺枯川氏以下五十五名は引致せられたり同夜場内に於て息國一心會會員は國賊社會主義者を葬るべしとの宣傳びらを撒布し騷擾を極めたり（東京電報）

安田翁 百萬圓
東大に寄附

安田善次郎氏は老後の思ひ出に一百萬圓を東京帝國大學に寄附して講堂を建築せんとの議は愈々纏まり近日中に寄附を發表するに至るべきが右に付安田翁は語る『寄附するつもりではあるが世間でヤレ爵位がどうのこうのなど噂が煩はしいので躊躇して居たので私の方は好ましからぬ事なので近く宮内當局の許可があるから其節之を發表して寄附する考である』（東京電報）

酒豪と健啖家
食ふは、飲むは
盛蕎麥二十八個 酒二升五合をグット飲み干す
蕎麥家の 藤原信吉君

永樂町の蕎麥家藤原信吉君は廣島縣生れで書生時代から友人間に知られた健啖家である、西洋料理、蕎麥、餅、酒と何でも御座れでイザ場に臨んでは決して以何なる場合でも一步も退れを取つた事が無い、二十二歳の頃陸軍戸山學校在學當時の事で友人と一處に芝の鈴蕎麥へ出掛けて盛を

二十八個 平げ仮名や友中を驚かせた事がある、その頃の君の身長は五尺七寸一分あつたが食つた蒸籠廿八個を積上げた時背の高さと同じだつたさうだ、是れも其頃の話だが銀座で西洋料理廿三枚（三人前半）をペロリと平げ下宿へ歸つて美味い漬物でお茶漬三杯掻込んで平氣で寢た事があつたとの事、君は

中々強い 酒も豪ら學生時代の酒豪も

大勢居た が神前に供へた五升入りの大升だけは手を附ける者が無かつた、其頃狸々藝者と云ふ綽名のある女力士の樣な藝妓が居て鯨手さへあれば五升桝を奇麗に明けて見せると自慢してゐたのを君が聽いて嚥ツと癪に觸りその藝妓を伴て來て五升桝に波々と酒を注がせ二人

だが友人と二人で酒保へ出掛けて三星印のブランデー四合瓶を二人で五本明た上量り賣りの葡萄酒一合入の洋盃で七杯流呑んださうだが此時ばかりは足が立たなかつたさうだ、廿六歳の時故郷の廣島に歸り、田舍の氏神の祭禮に出掛けた、田舍祭りの事だから酒が何よりの馳走で自慢で半分づゝ一滴も殘さず奇麗に呑み乾した上二人で手を携へて九十七段の石段を平氣で降つたので之れを目擊した村長殿は舌を捲いて逃げ出したさうだ、君は逸後も他人を驚かせた

面白い話 は澤山あるが一更四十三年頃の事、旭町の第一食科へ行き、笊蕎麥を二十五枚食つた、東科主人は珍らしい蕎麥好きだと云つて君の承諾を得て『藤原氏笊蕎麥二十五枚召し上られ候』と客室へ貼札を出して置いたさうだ、君は當年四十七歳、酒量も食慾も大分衰へたが今でも田舍へ行つて朝鮮人の宿屋へ泊ると三合入りの沙鉢で山盛り二杯の飯を平氣で平げるさうである。

末だ手懸なし
檢事ちた遞送人
前述の如く被害狀況の大略は當直ちに警官駐在所に屆出でられへるを以て利川警察署よりも署長以下署員七名直ちに長湖院に急行し

搜查中で ある何等手掛りなしと云ふ因に銃傷を負ひたる牛車夫は廣州郡九林面城里二十九番地金仲三（一九）にて堤川より荷物運搬の歸途なりしと云ふ

總監夫人の 同情
殉難一巡査 に對して

愛國婦人會朝鮮本部長水野政務總監夫人は過般不幸賊彈に殪れた京城鍾路署刑事李廷善氏の家族に對し金一封を贈呈し又十一日總督府醫院に大橋主幹を遣はし入院中の同巡查部長近藤茂德氏を見舞はしたさうだ

小學兒童を 通じて
水道宣傳

京畿道水道課では去る十日より府内各小學校生徒に對し夫々受持訓導より理科講演として水一般に關する智識及び結氷時に對する水道水栓の注意等水道に關する宣傳を開始せりと

娼妓の自殺 未遂
白髮染用のナイスを嚥んで

市内新町八、太平樓中居種次方抱へ娼妓千代次事奧平ツキ（一八）は十日午後三時半頃新町病院二階病室廊下でシラガ染ナイス六本を嚥下苦悶中を發見大騷ぎとなり直ちに洗胃嘔吐せしめた爲め生命には別條ない原因に就て聞くに本年四月頃五ヶ年間千六百圓の前借で同樓に稼業中であつたが從來長崎縣南高來郡島原町同樓娼妓奧平スズエとは常に

新年文藝募集

本社は來るべき大正十年一月發行の本紙新年號を飾るため左の如く和歌俳句漢詩川柳等を懸賞にて募集す同好諸子の奮つて御投稿あらんことを規定其の他左の如し

▲短歌 『朝』 尾上柴舟選
▲俳句 『新年雜詠』 内藤鳴雪選
▲漢詩 『新年寄友』 高野竹隱選
▲川柳 『二次會』 剣花坊選
▲情歌 『歌留多』 編輯局選
▲漫畫 『新年に因めるもの』 編輯局選

▲規定 投稿は各種共一人五首以内▲用紙半紙▲原稿には住所姓名明記の事▲宛名は京城日報新年文藝係
▲締切 十二月十三日限
▲賞金 各種共一等（二圓）二等（一圓五十錢）三等（一圓）但し賞金は發表後一週間を經ざれば送呈せず
●課題正誤 本課題中『和歌新年雜詠』俳句『朝』とありしは『和歌』『朝』『俳句』『新年雜詠』の誤植に付訂正

京城日報文藝係

角力道奬勵 の爲めに
京城に支部を設置

國技角力道奬勵の爲め古川司家を始め東京相撲協會を中心として生れた角道奬勵會は各地に其の支部を設けて居るが我京城にも今回支部を設けることゝなり從て角道に造詣深き本吉清一氏支部長となり角道に熱心な人々の應援に依つて會員を募集する由であるが、會員は名譽會員特別會員普通會員の三種に分けて會費を徴收しその代りに月刊角力雜誌及毎年二回の東京大角力番附を無料で進呈し且つ巡業角力來城の折は木戸無料通券を贈る等の特典ある由

圖們江氷結

八日以來圖們江は愈々結氷開茂山附近は牛馬車の通行を爲すに至り鍾城茂山間は艇ね人のみ交通

不和であつたといふが十日午後一時頃も寄宿内でスズエと口論なりしカテて加へてヒステリー性の氣味は遂に發作的精神に異狀を來し右の始末に及んだといふ

七十名檢束

自動車開通 平康在住金杉榮氏外七十餘名は檢束を加へられたり（東京電報）

其の他 十日午前五時三輪町櫻井商店石油倉庫より火災を起し火は忽ち其の東町なる相良タルカへ延燒し七、外人二名と二十名（七十四名）へ

靈岩普校の 火事

全南靈岩普通學校は校舍狹隘の爲め目下增築中なるが八日午後十一時四十五分火を失し折柄の強風に煽られて消防の効なく瞬く内に建物三棟を烏有に歸したり損害約六萬圓の見込なりと（木浦）

松齢會謡曲納會

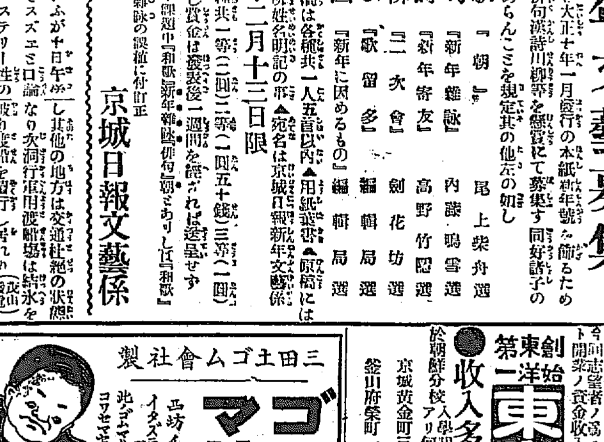
觀世流松齢會にては十二日午後一時より市内本町二丁目『初音』に於いて素謠納會を開催する由當日の番組次の通りである

▲素謠 和布刈（新田、磯村、古澤）雄久（三好、大田黒、中島）楊貴妃（矢上、雪子、蝶九（芳枝、佐和子、榮子）羽衣（猪原、矢上）熊野、錦子、勝子、秀子、春代）卷絹 芳子、文子、かな子）通小町（さわ子、中根、目賀田）天鼓（岡本、北澤）猩々（絹子、さく子）
▲仕舞 猿川（かな子）小袖曾我（他田）葛城（さく子）羽衣（北澤）紅葉狩（ふみ子）班女（山口）船弁（美代子）田村（久枝）花筐（築子）二人靜（磯村）花月（佐和子）八島（中川）松風（さわ子）高砂（末松）江口（深雪）大江山（佐山）野宮（芳枝）邯鄲（吉本）阿漕（絹子）項羽（江島）鞍馬天狗（雪枝）飯（武安）清經（秀子）葵之段（秘曲）網之段（鉄子）雲雀山（磯村）

お寺と教會

▲メソヂスト教會（旭町二丁目）十二日午前十時半『信仰うする者よ』中村牧師、午後七時讚美歌二三數授午後七時半甚野教師講演第四『基督の信ずる聖書』中村牧師、信仰の告白上田幸之助君
▲京城日本基督教會（長谷川町）十二日午前十時半牧師の説教『秋月牧師』同午後七時『不信の心』
▲諦閑寺（旭町）日宗兒童教會例會十二日午前十時より例會開催會我先生のお話、宮田先生の教話、逸見司監の法話等あり一般の來會を望むと
▲妙心寺（長沙洞）十二日午前十時より日曜學座並に碧巖錄提唱參禪會
▲曹洞宗別院（若草町）門脇探玄師六祖壇經の提唱あり坐禪もあります十一、十二、十三各夜七時より九時迄提唱坐禪十二日は午前十時より提唱
▲京城組合基督教會（南米倉町）十二日午前十時半禮拜說教堀牧師、午後七時半日曜學校講演、丹羽清次郎氏午前九時十分日曜學校來會歡迎

東京自動車學校 第二 創始 東洋
●收入多大ノ自動車界ニ來レ●
近日自動車ノ激増ニ伴フ運轉手技師ノ不足甚シ本校ハ大阪朝鮮ニ分校ヲ有シ全成績卒業生ニ就職シ得ル甲種運轉手ヲ出シ今回志望者ノ爲ニ運轉手技師ノ收入ト地位ヲ低メ自動車ノ使開業ノ資金收入等ヲ記載セル美本無料ニテ送與ス東京市京橋區
於朝鮮分校 入學期日每月一日及十六日一ヶ月卒業 トアリ何レモ卒業迄ノ全費 貳金百卅二圓前納 學期送
京城黃金町三丁目 京城自動車講習所
釜山府榮町一丁目 釜山自動車講習所

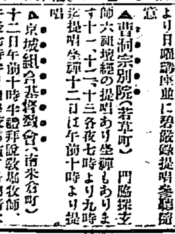


忘年會及新年重詰 大勉强
每々一方ならぬ御引立に預り難有奉深謝候就ては忘年會、新年宴會、折詰、重詰は特に勉强可致候間何卒多少に拘らず御用命仰付の程奉願上候 敬白
京城本町五丁目
會席料理 權平庵
電話貳貳參七番

内科 小兒科 眼科
京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
附屬 京城肛門病痔疾院 院長 本田
本田病院
入院隨意 肛門病並痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券二錢送
電話二四四三番 振替京城

御贈答用 歳末年始
銘香 もろかづら 銘筆 にはつ鳥 銘墨 光 曄
包紙ノ圖ハ鐵齋、栖鳳、虛舟、三蹟伯ノ靈筆ナリ
香筆墨三種組合 桐箱入 壹圓五十錢
内地送料拾弐錢
熊谷鳩居堂
京都寺町姉小路上 電話上一二八三

瀨戶 外科 皮膚科 醫院
（診察夜九時迄）（電二四九八番）
京城旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀨戶

天下の名釀


發賣元
合資會社
增田屋商店
仁川府本町

慶安太平記

第三十九席　小金井芦洲講演

斯うなると又大變な人氣を集めるもので、江戸市中この頃は正雪の仇討ちの話で持切り、自然楠の道場は正雪が後を引き受けてやつて居るので弟子が日にも門人が集まつて來る、その中にこの道場が狹くつて不可ないと云ふので何處か好い所はないかと諸所方々を探して居ますと、茲に牛込榎町馬の首といふところに廣大なる空地がありましたので、幸ひこれを借受けて此に立派な普請を致しまして道場を此處へ引移した、此牛込に民部之助は道場の名を張孔堂と名附けて、由井民部之助橘正雪、仰げば天文俯せば地理、武藝十八般何分でも無論名人と心得て居る、ところが此丸橋忠彌が知る中に柴田三郎兵衛、加藤市右衛門などと云ふ武藝者がある、何れも浪人連れの意氣相投合して兄弟の縁を結んで居る好い仲間同志でありますが、この頃牛込榎町馬の首に於て由井張孔堂正雪の噂がパツと立つたら大層なもの、日に月に隆盛になつて來ると云ふを聞く度毎に持つて生れた狷獺な忠彌一々ごつ癪に觸つて仕樣がない、で一日態々自分一人でぶらりと家を出て牛込榎町の道場張孔堂の門へ行つて來た、見ると高莊な構造で表面に出してある看板は、上は天文下は地理、十能六藝伊尹の兩道

流に拘はらず他流試合勝手たるべき事但眞劍勝負仕るべきものなりと斯う云ふ看板を出したのでサア大變になつた、往く先々でこの噂で持切つて居る、で此看板を見て試合に來るもあれば又入門をする者もあり、廣い所へ道場を建てたんだが是れも赤備良の大繁昌と云ふ事になりました。(中略) 不倒の厥妻のお高娘のお重この兩人は他へ住居をさせて安樂に扶持を送りますので、これ赤民部之助が聞つて不倒を殺したと云ふ事を知らず大層喜んで居れます、然るに茲に其頃本郷お茶の水に町道場を開きまして、寶藏院の槍術を指南致す丸橋忠彌藏澄といふ武藝者がございます、この丸橋は寶藏院管槍の名人で、當時に於ては先づ日本一であらうと世評に上る位の人、性來酒を好んで短慮の性質ではあるが一度槍を取れば實にどうも誰も舌を卷かない者が無いといふ、然れば自

武藝十八般の指南、何流に拘らず試劍勝負勝手たるべき事由井張孔堂橘正雪こいとも筆太に書いてある、これを見たる丸橋忠彌、愈々怒つて其儘立戻つて來た、翌る日になると、麹町番町に於て只影流の劍道で道場を出して居る、加藤市右衛門の所へやつて來ました　忠『オイ加藤お在でか　市『オヽこれは兄君マア能うお入來だ、サアお上り　忠『今日は些と貴公に相談があつて來たんだ　市『ア、左樣か、一體相談と云ふのはそりや何だ　忠『貴公は聞かしやつらぬが、此頃牛込榎町に、由井民部之助橘正雪といふ奴が、町道場を開いて諸侯へ出入をいたし萬石以上の生活をなし、多くの門人を道場に遂うて時めく勢ひ……　市『うむ、それなら聞き及んだよ　忠『聞き及んだぢやない、俺はお茶の水に居るんだから、程近い牛込榎町で除りの評判に一日往つて見ると、表看板に斯々の事が書いてある、武藝十八般の指南といへば、寶藏院の槍術もこの中に含まれて居るに相違ない、加之眞劍勝負五人詰十人詰勝手たるべきものなりといふのは、世間を恐れぬ傍若無人の振舞、除りと云へば僭上な沙汰と思ふが、どうだ貴公俺と一緒に往かつしやい。

きれいなお菓子の箱詰、組もの　明治町 電二八七〇　木村屋

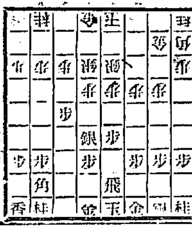
御婚禮 其他御宴會 特別勉强致します　舊龍山 新白水　電話四六番

將棋新手合(一)

於京城貸金部三丁目二二五 滿呂木將棋所

飛落 六段 ▲滿呂木光治(京城)
初段 △桑尾銀之助(京城)

(圖は六三銀迄の局面) 持駒香尾氏ナシ



▲三四歩△七六歩▲四四歩△七五歩(イ)▲五四歩△五六歩▲四二銀△六八銀▲五三銀△五七銀▲三二金△六六銀△一六歩▲六四歩△五八飛▲六三銀△四八玉▲七二金△三八玉▲五二玉△八六歩▲四五歩(以下次號)

滿呂木六段講評

△(イ)七五歩の策戰は無謀なり此處普通に二筋四筋より攻勢を採る紛れ少なし

敏速 叮寧　京城櫻井町　みのや京染店　長電話一四六二

十二月十二日 (舊暦十一月四日)

▲月曜日 ▲暗劍北方 宿▲執 ▲乙巳 ▲一白 ▲友引 ▲危

▼一白▲油斷なく周圍に氣を配るべく退嬰的却つて利を得る日
▼二黑▲浮腰にして諸事徒勞に歸し易し約束事亦手違ひ多き日
▼三碧▲慕はしく目出度き日 開店就職等は素より旅行結婚亦吉
▼四綠▲物事すらくと捗り利益多き日 常業、取引、計畫何れも大吉
▼五黃▲一寸調和のとれ難き日 辛抱して時節の到るを待つべし
▼六白▲待てば甘露の日和の譬 急がずとも吉運の廻り來る日
▼七赤▲穏やかな日 起業開店旅行披露結婚其他水物商賣上首尾
▼八白▲兎角反對に行き易く浮外の損失を招く日 新しき企て凶
▼九紫▲自薬議論の事あり外働きよりは内稼ぎに利益の多き日

せきづい

病を以て病んで色々治療するも甲斐なく日を過ごして居りましたが御家傳この名法奇藥にて難症も全治せし喜びの謝状日々引も切らず實に妙一劑切手封入御照會次第詳報す

明石市郡役所前　横山家

あらゆる赤毛染

わかやちぎ

一、髪洗せず染付き完全
二、僅か廿分にて漆黒の美毛となること請合
三、毛質を害せずクセ毛を矯正す
四、洗つても褪めず剝げず永く保つ
五、染上後襟枕等に着く憂ひ絶對になし
六、如何程澤山の毛髪でも一壜にて充分染まる

定價 金五拾錢　全國到る處の藥店にあり

東京醫科大學 藥劑師五氏 共力創製
東京理髪美容學顧問 美容術顧問 澤畠氏推
大日本美髪會 藥學博士 伊藤氏選

登録商標 神女印

發賣元 猫イラズ本舗 東京日本橋本石町 成毛英之助商店 電話本局一四六八・一九三七
佐賀市白山町東詰 猫イラズ九州支店 電話一三三〇 振替福岡三二四〇

八千代 防寒羅紗マント

圖先づ地質見本と特價表を請求せられよ(ハガキで申込無代進呈) 其地質の優良と安價なるに驚くべし

今春以來羅紗類の大暴落で總て下値の際大量仕入れたる[illegible]

(特價表)
◎特製マント(頭巾肩掛付) 二尺五寸 八圓三十錢 / 三尺 九圓七十錢 / 三尺三寸 十一圓二十錢 / 三尺五寸 十二圓二十錢 / 三尺七寸 十三圓八十錢 / 四尺 十四圓三十錢
◎二重トンビ 三尺七寸 十六圓五十錢 / 四尺 十七圓七十錢 / 四尺二寸 十七圓三十錢
◎モジリ外套(頭巾付) 三尺七寸 十三圓九十錢 / 四尺 十四圓

既製品部は海外迄歡迎せられた八千代羅紗も財界の影響を前提として原料や工賃の下落を幸ひ左記三種の新式流行型に入念仕立上げ實物廣告の擧行五百着限り特價で提供す好機を逸せず直に見本請求し成程と御了解の上御注文あれ

寸法は身丈(?)... 送料は三種共金二十錢 代金引換の際はハガキで御注文

東京市牛込區横寺町九　八千代羅紗既製品部　電話番町五四一二番 振替東京三六五六四番

有利な精麥業

特許改良麥製造機
特許佳香麥製造機

不景氣が來て初めて判る財界の不況は各種の方面に至大の悪影響を與へたが獨り國民の日常必需品たる精麥業は依然として有利確實なる利益を納めて居ります。此の際速に一臺を据付けて運轉すれば總ゆる營業費を引去つても猶且一ヶ月に壹千圓以上參千圓の純利益は確實であるから一面堅實なる利益を納めて自家の繁榮を策すると共に他面國家の食糧問題に貢献する事は刻下の急務です。下らぬ模造機械を買つて御損をなさらぬ樣御注意を乞ふ(機械説明書及定價表御申越次第進呈)

發賣元 靜岡市東町廿二番地 株式會社 不二商會 電話長三三六、二七八番 振替東京三二四八六番 (資本金三百萬圓)

命も金も失す

梅毒、麻病で 腋臭で

捨て置けば命に係る、と云て効もせぬ高い藥に騙されて空しく月日を送る梅毒病の人は迷はずに直ぐ斯界の權威たる本郷順天堂の自宅治療法を讀むが好い多年研究の結果藥化學の應用を完備して製物を人助けの爲無料で進呈する、必ず藥書に病名を記して東京本郷區元砂町本郷順天堂宛申込まれよわきがで困つて居る人も同樣です

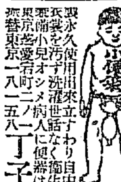
メリヤスシャツ

上下一組 僅二圓八十錢

財界の變動以來金融にぎつしりの處へ約手の融通も利かず金繰りの爲め茲に東京芝櫻川町十七の美濃勘商店は防寒用として新來のメリヤスに遜色なき本毛メリヤス上下一組僅三圓八十錢と云ふ馬鹿値にて大投げ賣り出しの商品購求者には開業十週年の爲め記念五百組限りメッキで無いアイデーヤ金指輪二匁を一組毎に一個宛無代進呈すると云ふ由なればメリヤスはロハ同樣なれば防寒用として日々山を崩すが如き賣行きなれば希望者は賣切とならぬ内ハガキにて申し込めば代金引換送料實費にて送る由なり

男女衛生的 ゴム サック

男用上製一打 [illegible]



れ小便袋　乳兒用 小兒用 大人用 [illegible]

東京愛宕町二ノ五八 丁子堂

演藝案内

大正館(櫻井町) 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 電話八七三
當る十二月十日より公開大寫眞
◎實寫大理石切出の實況 ◎喜劇モリッツの畫家 ◎舊劇 山本、東、藤野、夜笠一派總出演
□新派悲劇「乳屋の娘」全六卷 都新聞所載遲塚麗水先生の原作に依つて[illegible]
□人情活劇 奮闘の好機 全五卷 説明者 竹本國夫、宮島保、石原琴外、兒島星月
□日活會社京都派第二部作品 市川姉蔵一派第四回封切 源平盛衰記 悪七兵衛景清 全七卷
毎月一日、十五日、日曜祭日晝夜開館 △入場料特に普通

壽館(本町一丁目 電話七八五)
[illegible]

黄金館(黄金町 電話一三六七)
當る十二月九日より上場 △喜劇 ビリーの逃走 △新派 眞田漫遊記 全五卷 △ヴァイタグラフ社 歡樂の影 全七卷 △湖畔の小鳥 全五卷

滿員大盛況の??

忘年大演藝會

落語 手踊 落語 連鎖 滑稽 奇術 浪花節 掛合

◎是非御年忘れに御來館御笑ひを乞ふ

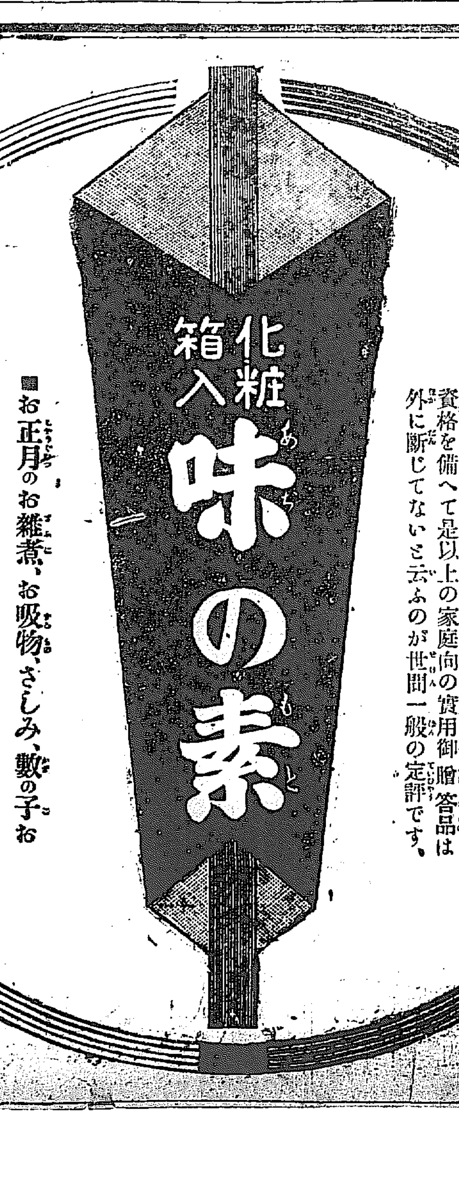
浪花館

喜樂館(本町一丁目 電話九七七番)
火中の美人 / 虎の足跡 全三十一卷ノ内 / 戸田新八郎 全七卷

浪花館(明治町 電話一六〇番) 當る十二月十日より開演 忘年演藝會 落語、笑劇、音曲

三つの資格

風呂敷包をあけて見て……まア大變重寶なものを頂いたと何れの家庭にも喜ばれるは化粧箱入味の素です、体裁は優美、値段は頃合、年中重寶の資格を備へて是以上の家庭向の實用御贈答品は外に斷じてないと云ふのが世間一般の定評です。



■お正月のお雜煮、お吸物、さしみ、數の子おひたしの附醤油は勿論、お正月のお料理なら何でもスグ美味くし出來ますから、實用第一の御進物としては味の素が一等です。

全國各地食料品店にあり、是非御活用遊ばせ。

化粧箱入味の素定價
一號 金九十錢
二號 金壹圓七十錢
三號 金貳圓五十錢
四號 金參圓廿五錢
五號 金五圓

兵庫縣灘魚崎 山邑酒造株式會社釀造

宮内省御用達

サクラ正宗

櫻正宗賣元 京城明治町二丁目 株式會社山邑酒造京城支店 電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五番

大分セメント着荷

京城府漢江通七番地 龍山工作株式會社 龍山電話六二八番

學校用器具製造販賣

龍山工作株式會社 木工部

12-D

仁取事件

豫審漸く終結
有力仲買免訴

本年二月十八日仁川取引所に低落事件發生するや引續いて司法官憲の活動となり所謂第二取引所事件なるもの起り仲買人主力及有力なる代理人の檢擧を見取引所方面に一大恐慌を惹起したるが檢擧一段落と共に事件は檢事の起訴に依り爾來地方法院仁川支廳小野判事の手に依りて豫審中の所十二月十一日終結收檻中の今村覺次郎、廣澤正次郎、内海淑郎、淺野太三郎、菰口紋七、三浦正夫、野中喜馬三の七氏は何れも豫審免訴となり十一日釋放せられたるが是にて一時世人の注目を惹きし同事件も全部解決したる次第なり（仁川電話）

●●●移入界不振

朝鮮の移入界は益々不振を續け十一月の貿易の如き相當冬物の入荷時期なるに拘らず移入總額一千七百萬圓にして前年に比し一千三百萬圓の大激減を來したるがコハ物價暴落の影響を受け移入品の値下せるも一理由なれど商人の仕入手控へ並に前年來の思惑移入巨額に達せしため手持品の消化を圖る等の事情及び内地商人の警戒厳にして送荷を制限し手形を落させず荷爲替とする等の梗塞より來れりと

○日銀報告　九日現在左の如し（千圓單位）

發行高	一三一、八八五
正貨準備	一三一、八八五
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	二一九、五一八

○鮮銀券日報　十日現在左の如し

發行高	二〇一、四二五、四〇四
正貨準備	[illegible]
限外發行	五二、七四五、〇二八

財界閑話

有賀殖銀頭取に歳末こあつて各新聞から揮毫を求めに行く▲頭取一切お斷りをしてるこて受附けない曰く『僕は大隈侯式ですよ』こ▲蓋し決して書かぬが何か話せこ云ふならお望みに任せるの意味だそうな▲同行は中村理事も先づ筆をこらず櫻井理事も誇る程の名筆でない▲峯尾實銀の京取重役内定は意外の思ひをした者も多いらしい▲同君は京取株を有たぬからこ云ふので無資格者こして否認せる人もある▲成程同君は株は有たない▲然し乍ら同君の所に株主總會の通知の行つた事は確實であつて又京取の株主名簿に一〇〇株峯尾晋三郎こ上つてゐるのも事實だ▲君を推す人々が同君のためにコツソリ一〇〇の株を用意してるるのである▲市場でも本紙記事によつて峯尾君のうわさが出てゐた頭から睨ず人もない▲先づ〳〵京城でされば君かなあこ言つてゐる

京城現株市場出來値（十一日）

銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場
京取 引寄	三二、一〇 三二、六〇	三二、二〇 三二、三〇	商銀 引寄	三〇、四〇 三〇、七〇	：	京電 引寄	：	：
殖新 引寄	：	三四	同新 引寄	：	：	同新 引寄	：	：
東新 引寄	：	：	漢銀 引寄	：	：	電興 引寄	：	：
拓新 引寄	：	：	同新 引寄	：	：	東京 引寄	：	：
東新 引寄	三六、五〇	：	韓銀 引寄	：	：	朝煙 引寄	：	：
仁取 引寄	：	：	東拓 引寄	：	：	朝郵 引寄	：	：
鮮銀 引寄	：	：	鮮土 引寄	：	：	殖鐵 引寄	：	：
同新 引寄	：	：	朝新 引寄	：	：	中鐵 引寄	：	：
殖銀 引寄	：	：	滿毛 引寄	：	三三、二〇	滿鐵 引寄	：	：
實銀 引寄	八、〇〇	：				同新 引寄	：	：

硬軟の見解

改制後の出來高より推せば二千五百以上に買はるゝとも何等人爲的相場さも稱し難く況んや人氣に左右さるゝ取引所株たる以上買人氣の如何にさも許し得べきか

前場内氣配

殖新十二圓五十錢賣三十錢買▲仁取百五十圓賣四十九圓買▲鮮銀百十圓七十錢買九十錢賣▲東拓四十九圓五十錢賣八圓五十錢賣▲滿鐵百三圓一圓買

京取（後場）

出來高 甲	二千二百枚	
乙	百七十六枚	
累計 甲	四萬一千二百十八枚	
乙	一千四百四十枚	

株式（強氣配）

前場保合ひ

前日來崎嶇一過後の靜寂に歸したる場面は今朝も依然平凡にて前場引けは同値保合なり（中略：[illegible]）

後場強含み

前日來三場に亙る保合相場も後場に至りて再び上騰機運を示し新田川崎の買進みに二十六圓こなり[illegible]

嵐の前の靜寂
最後の決戰は十三、四日か

京取は最近相場の凋騰と共に商内高の減少を來したるが[illegible]

諸說は尚ほ依然として
賣方に味方し
提携說を傳ふ

[illegible]

部の協定取引を承認し
なり淚を吞んで一
之れが犧牲と

[illegible]

は此の兩日
最後の大接戰

[illegible]

主要株歩み値段

京取（前場）	二三一、〇〇
	二五〇、〇〇
京取（後場）	[illegible]

現はすも突飛相場
依り三十圓の高値を
とは云へず

[illegible]

く事四十五錢を上拔
買王を維持し得る
既に發會を上拔

[illegible]

取引方法講究

改制以來一般取引に多大の便宜を加へたる事は周知の事實なるが抑も三日取引を十五日に延長されたる趣旨は地方筋との取引を圓滑ならしむるに在りたるや勿論にして之れを相在の取引方法に見れば連日多少の受渡を了しつゝあるも尚ほ大部の受渡を見合せ[illegible]

前場の乙部

今前場の乙部は安東取引稍氣鈍く十六圓九十錢より跡八十錢さ弛み大新六十圓五十錢海東銀行六圓十錢さ出來せり尚上取は四十五圓四十錢買二十錢買の氣配なりき

後場の乙部

後場は安取十六圓八十錢大新六十一圓京取新株廿五圓五十錢の手合あり

十日の受渡高

株數 一千百六十株
代金 三萬九百四十圓

十一日受渡高

株數 一千四百九十六枚
代金 三萬七千五百六十圓

京取取組内容

十日後場より十一日前場に於ける京取の取組内容左の如し

（賣方）有田五〇▲池田一〇▲高松九三〇▲川崎四六〇▲大島九〇▲方五秀六〇▲樫三〇〇▲井口二〇▲金（買方）吉見八九〇▲塚野二〇〇▲櫻谷一〇〇▲新田四九〇▲古閑二〇▲三好五〇

東京現株特電

銘柄	十一日前場	十日後場
同新	一三〇、五〇	一三〇、〇〇
鮮銀	一三九、五〇	一三三、〇〇
同新	三〇、五〇	四六、〇〇
東拓	四六、〇〇	一二〇、五〇
同新	一〇二、〇〇	九八、〇〇
滿鐵	一〇、五〇	一五、〇〇
同新	一七、〇〇	一二、〇〇
殖銀	一三、〇〇	四二、五〇
同新	一四三、〇〇	二八、〇〇
東株	一九、五〇	一八、〇〇
同新	四、〇〇	一二、〇〇
連取	一七、〇〇	七三、〇〇
滿毛	三五、〇〇	三六、〇〇
朝紡	一二五、〇〇	一二三、〇〇
滿燐	一二、〇〇	一二、〇〇
日紡	八七、〇〇	八六、〇〇

大阪株式特電

銘柄	十一日前場寄付	後場大引
大株	一三八、一〇〇	一三八、一〇〇
新株	一三〇、九〇	一三〇、四〇
郵船	五三、三〇	一三、〇〇
同新	一三八、〇〇	一三八、〇〇
商船	六七、六〇	：
同新	：	：
鐘紡	二二七、一〇〇	二二七、八〇〇
同新	二二五、七〇〇	二二六、三〇〇
東紡	一一二、八〇〇	一一三、〇〇〇
東拓	：	七〇、四〇〇
上取	六三、五〇	六三、三〇

大連株式特電

銘柄	前場十一日	後場寄付
大株	一一三、一〇〇	一一三、〇〇〇
新株	一一八、〇〇	一一八、二七
郵船	五三、三〇	六七、六〇
商船	一二八、九〇	一二三、〇〇
同新	一二七、九〇	一一三、〇〇
鐘紡	一二二、〇〇	一二三、〇〇
同新	七〇、八〇	六三、三〇
東紡	六三、四〇	[illegible]
上取	[illegible]	[illegible]

十日　寄付　止め
遼東取引所
池取先當　三四、九〇〇　三四、五〇〇
三四、六〇　三四、六〇

安東株式特電

十一日　寄付　大引
安取先當　一六、七〇〇　一六、七〇〇
一七、〇〇　一七、二〇〇

○訂正●　昨前場電報が六圓二十錢に出來せる如く報ぜしは東亞煙株六十四圓の誤りに付訂正す

株界片々

九日の會社がの惡いゴタイヤ〳〵に就いらが足らぬあるさがろ人仲の買は昨便ふが最大因でさな結んで局つの客小売力りしが頼い▲何でもな相場つて居るの高さはれさえてんも追證でもつて入れ場ががて居の高発の辨はくなさしたもいい正株さ商道德へれ場のの面のうはさまなたしな▲商頼も取股の達のの罪〳〵だこうなれば折こからは仲買も客が總に退引がた▲制限委員長が昨今の近頃買に揀るやうによ▲仲買組合は急に最近株いいの中にで樂じ▲株界は花が咲くなら市場にの爲め直は三は三井仲買組合退間も題はうは▲この中にて執れ君の如き人物にや[illegible]

米況（強調）

仁川期米
十一日前場
十四圓九十錢の下放れ
十四圓九十五錢
に人氣を挫き
押つ大阪寄二

昨後場阪地の依然下放れに十八圓〇四錢さ叩かれ買方の防戰に十一錢方盛返して打止め折柄阪地の引跡氣配の高合みに當限出來ざるも中四十五錢さ始め先十七圓二十錢さ九丁高に寄付きたり
▲第二節　當中出來ざるも大阪寄りより五十錢さ締りしが先限は
▲第三節　當中出來ず先九十錢さ締り押つ立て買方の防戰に七圓九十五錢▲[illegible]

日曜明け期待

昨後場より今朝に互り返地の不勢な好機に軟派追撃を試み買方の根底がは崩れて了ふ處の反撥を演じたる大阪地頭の不動は單に日先の呼吸押しさへ[illegible]

雙方動機待

五萬石に近き大取組さなれる先限の仕手關係に就き果して何人の後援なるか今以つて其旗色鮮明ならざるが市場一角の傳ふる處に依れは阪地の岩木を始め大阪の光成仁川の某有力者がⓐより買進みⓐの買物は地場の成金連に京城方面の大手筋なり加はり居るやの說ある反して賣方は地方正米商を一著に鮮人の有力者多く丸張ⓐ又共其他より買浴せ他迄で對抗せんとする傾向なれは輕卒に崩れ投げを演ずる如き事なかるべく八朔の關門の待ちつゝあるもの、如く兩者の暗戰と行動は刻一刻緊張して活躍の時機を窺ひ場面の興味を添へつゝあり

（[illegible]）

	寄付	高値	安値	止値
十一日前場 一節	八、一〇			
二節	八、四〇			
三節	八、〇〇			
四節	八、〇〇			
五節	八、〇八			
十日後場 一節	八、一〇			
二節	八、二〇			
三節	七、九〇			
四節	七、二九			
五節	七、九三			
六節	七、八〇			
平均値段	八〇七			

買入値段	當限 一、八〇〇	中限 一、八二五	先限 一、八二四
現在組高	一萬九千八百石	五萬二千八百石	四萬四千石
出來高	十七萬八千九百石		

後場跳返す

▲第一節　大阪前止め八十七錢後寄八十八錢の移り當中出來ざるも先十八圓ドタ〳〵さ十一丁安に寄付
▲第二節　當中出來ず八圓四十五錢先七圓九十八錢より八圓ありしも九十五錢さ弛みて引公定九十七錢
▲第三節　當中出來ずも先九十錢〇高値▲第三節さ高値さに八圓より先九十錢さ押して引公定二十一錢

八圓臺に
擡げ二十八錢さ跳ね

期米雜觀

師走相場の米太郎もドチャら快方に向つたらしい今暫く此の調子を以つて直られたら一夜の年の瀬には二十圓往射の劾目も現はれるちやうらさ云ふ短しい處を聞かされた買方の氣まい事が急に元氣付いて十八圓五

京城穀物延取引

玄米

昨前場の活況の後場は引續き發會にて同日期限果けの移りに場面は多少氣挫けの氣味を見せ十二月末二十圓二十九圓六十錢に新規買行れ十二圓二十錢に打止めしが今朝は現物の實物選びの氣勢まり五十錢を下押し一九十錢さ締りより八十錢の靜止めに更に十七十錢と始まり跡八十錢の靜處を見せ[illegible]

大豆

露さに新穀の先安を識して一時先物の捌け聲行はれたるが渡方の大半は年末仕切りに見越しし現品の實物薄だしが爲め商來其の買[illegible]

前場商内

十二月末渡出來不申
一月十五日渡出來不申
一月末渡
玄米二百石一九六〇▲三百石一九
七〇
帳入値段　十九圓七十錢
十二月末渡
十日後場商内
玄米百石二〇三〇▲百石二〇二〇
一月十五日渡
玄米二百石一九六〇
一月末渡
玄米二百石一九五〇▲四百石一九
五五▲三百石一九五〇
出來高累計二萬一千石

（正）仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　仲買店　電話二八二長二八三番

京城正米市場

一時盛んなりし朝の廻著も昨今漸く減退し且つ内地鮮内各地の高價は移ざる折柄に依り今朝は氣配一般に賣躍の參さなり今朝は地拾中玄十九圓見當に比ものありさかにて上物共當に出來ぜし六十錢を唱へられ茲一兩前に比し六十丁方を跳返せり

白米引締む

白米は氣配漸次高含みにて前日に比し更に五十錢方引締り上物二十一圓五十錢を唱へられ精白も原料高さ賣物薄に三十錢方精高の市中御値段は乾來新規注文なき模樣なれ共年内渡しにて相當商談纏りましもの如し

仁川正米市場

天候の回復に連れ廻著稍増加し且り買方見送りの爲め人氣引立す前日より三四十錢安の地拐玄米十八圓四五十錢三等合格二十圓二十錢見當なるも捗〳〵しき取引なし

群山正米特電

十二月末限二十一圓二十錢一月中限一圓三十錢現物一圓八十錢を前日に比し二十錢方小締みたり（十一日）

東京期米特電

	前場寄付	後場大引
○十一日　當限	二四、五〇	
中限	二四、五〇	
先限	二四、三九	

	前日
二節	二四、三一
三節	二四、三九
四節	[illegible]
止め	[illegible]

大阪期米特電

	當限	中限	先限
○十一日前場 寄付	二十四圓三十一錢	二十四圓五十錢	二十四圓三十二錢
一節	[illegible]		
二節	[illegible]		
三節	[illegible]		
四節	[illegible]		
五節	[illegible]		
六節	[illegible]		
七節	[illegible]		
八節	[illegible]		
九節	[illegible]		
十節	[illegible]		
安値	[illegible]		

○十一日後場寄付
當限　二十四圓四十八錢
中限　二十四圓八十錢
先限　二十四圓九十錢

下關期米特電

○十一日前場　寄付　止め
當限　三〇、三〇　三〇、四〇
中限　三〇、四〇　三〇、三〇
先限　三〇、三〇　三〇、二〇

十一日後場　寄付　止め
二十四圓四十八錢
二十四圓九十錢
五十圓〇二錢

（吉）仁川米豆取引所仲買人　吉金仲買店　電話長八三五番　七八四番

（吉）仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話（三〇九二番）

仁川米豆取引所仲買人　坂倉仲買店　電話　六五〇番　三五五番

（丸）仁川米豆取引所仲買人　…有價證券現物賣買…　仲買店　本店電話一七三二、一七二八　電話長三一八

大阪三品特電

	前場寄付	前場大引
○十一日前場 十二月限	三〇七、五〇	三〇七、五〇
一月限	三二三、〇〇	三二三、〇〇
二月限	三二五、〇〇	三二五、〇〇
三月限	三三九、五〇	三三〇、〇〇
四月限	三四一、五〇	三四〇、〇〇
五月限	[illegible]	[illegible]

	後場寄付	後場大引
○十一日後場 十二月限	三三七、五〇	[illegible]
一月限	三三六、〇〇	[illegible]
二月限	三四〇、〇〇	[illegible]
三月限	三四〇、〇〇	[illegible]
四月限	三四〇、〇〇	[illegible]

綿糸更に不勢

昨後場遂に當限三十圓臺を割りし大阪三品は買氣の凋落と相俟ち今朝も綿三十錢高裡場三十八圓八分七を入れ前場寄當限二百二十七圓二十錢先限四十一圓五十錢さ不勢にて大引け當二十七圓三十錢さ持合ひ入れたり

綿布下落り

綿布は米安に伴ふ地方購買力の鈍化の折柄綿系の崩れに益々買氣が殺がれ移入途絕の際市場は不況なる新場市場も一般冷靜に傍觀の態度を守り同業者は小賣價は三二百圓の下落に逆居るがけ如く相場は下値十六圓三十錢の擱みを唱へ居れり

米棉市況

綿花市場は一月限り十五仙七十六さなり保合を報ず

紐育株況

九日紐育株式市場はスチール株八十一弗同砂ンダ銅株卅八弗同事（紐育九日發電）

銀塊市場

銀塊相場は六十一仙八分の三又紐育銀塊相場は六十仙八分の三下落す（紐育九日發電）

上海株況

九日の上海株況市場は區々なるが上海株式正金當月限り四十三兩一兩安日華紡織三十三兩半同事高砂紡糸九月組合百四十七兩同事對日本棉花六十八兩一兩高上海九日發電

不動産競賣公告（京城地方法院）

左記不動産ヲ左記日時ニ於テ競賣ス

[illegible]

京城府黄金町五丁目三百八十五番地　一所有者　[illegible]
楊州郡[illegible]
高陽郡[illegible]
京城府[illegible]

以上大正九年十二月二十一日午前十時トス

◎安心して買へる
日本一の
總ゴム靴

黑　二圓　實用ゴム靴
赤　二圓半
黑　三圓　別製一釘
赤　三圓半　小學生用
▲上等別製　一圓
黑　三圓　深ゴム保險
赤　三圓半　小學生用
最上深ゴム上　二圓半
黑　四圓
赤　四圓半
三圓

料金前一換引除き外往文注送先料金は不要又は品切の節は御返金致すべく候

Ⓜ東京市日本橋區橫山町三丁目角　ゴム靴製造元　本山高等
御送金は振替東京六二五五番へ願

一ツ光さしたき滴ー一番
一滴目藥
眼科　專攻　製藥
眼病一切特にトラホームに用ひて…
効驗的確!!
（價　廿錢、卅錢、五十錢、一圓）
大阪、東京、上海
本舖　高橋盛大堂藥房
到る所の藥店に販賣す

闇から光へ
驚異

主治効能
蛔虫諸症疳蟲
夜泣の蟲、乳吐き
蟲腹痛み、疳熱
蟲胸惡く、勞熱
蟲せき、驚風の蟲
近來粗惡なる僞物出來す御注意を乞ふ
商標ご岩崎大海堂に御注意
岩崎大海堂セメンヱ謹製
美味なる
▲虫下しの最良藥
開明堂　鷓鴣尾湯
大阪天滿宮前
本舖　岩崎大海堂
▲内外藥店に在り
美味なる
虫下し
最良藥
定價十錢●廿錢●五十錢●壹圓

（右欄）

[illegible]した爲同氏は孫文派と[illegible]こ接近もて孫洪伊派こ孫文派この軋轢は鎮靜するに至り兎も角も[illegible]

宜昌兵變以來武装兵隊も不穩を呈し諸言百出し市民は恐慌を起し避難準備をなすもの多し（漢口十日發電）

[illegible]委員會設置せらる、既定にして共產黨員は所有手段を弄して反對黨を壓迫し軍隊及脅嚇者の選舉權を利用して多數を占めんこ畫策しあり之が爲選擧期日の

品の缺乏に苦しみつゝあり而も[illegible]留の[illegible]落底止する所なき有樣にして[illegible]那側一元に對し新紙幣三千留の相場を呈し支那商店[illegible]

充すも可もあらず又地方農民は[illegible]豚に窮せざるも砂糖等の缺乏甚だしきが爲鎖に穀類を以て支那人こ必需品を交換しつゝあり

[illegible]る解除師團を望む念漸次增大しつゝあるを以て早晚之に動搖を來すを免れざるべしこの風評あり

[illegible]る後なり同社長野村龍太郎博士のみ二五日遅れ朝鮮着の事に任すと

○一銀移轉期明年か　第一銀行京城支店は十二日南大門通りの新築事務所に移轉の豫定なりしもそのコソ泥

自轉車を盜む

[illegible]こは前科數犯[illegible]飯が喰ひたさに[illegible]に盜み取り警官に捕へらるゝの[illegible]を待ち自ら其儘本署に引致せられるゝ『コンマイスミマダーお蔭で人目の安閑ご御飯が頂け[illegible]

北滿物國グラウンド[illegible]三時よりアメリカン軍の先攻にてナショナル軍より盛りに力めたるも結局六對九にてアメリカン軍の勝利に歸し閉戰せり（京都發電）

今朝浦潮州島附近に低氣壓現れ北鮮東に進行しつゝあり爲に南鮮地方には降雨を催し中部以北は晴雨相半し全鮮の風向區々にし[illegible]

日出　七時[illegible]分
日入　五時[illegible]分
滿潮（仁川）午前[illegible]　午後[illegible]

曙（あけぼの）

德田秋聲　（挿畫）近藤紫雲

第十七回　歸朝（6）

所謂山師の事業で、父の敏之が鑛山に手を出して失敗したのだと知つた時には、絢子ははじめて驚いた。そして、負債の額が大枚二萬五六千圓で、文平の助力がなかつたら公賣處分の恥辱に遭はなければならない際だつたと、母に聞かされた時は、彼女は卒倒せんばかりに吃驚した。

『何のことはない、私の身體はそれだけの金のかたに取られたようなものだ』然う思つた時に、絢子は誰を恨むよりも先づ自分の運命を呪はずにはゐられなかつた。自分の前途は眞暗だと、彼女は殆ど絶望の淵に沈まうとした。然ういふ折に憶ひ出されるのは、矢張り初戀の人だつた。白井欽吾其人だつた。しかし、絢子は唯過去の夢を偲ぶより外に仕方のない女になつてゐた。もう何を思つても、何をしようとしても、島家の嫁となり、辰衛の妻であり、貞子の母である以上は、如何することも出來なかつた。彼女は一寸も自由な天地へ伸ばせない自分の馴れない手足を、熟と眺めるより外はなかつた。——

『でもね、人間は不足を云へば限はないわ。此家へ來てからの私は、私の生活はこれで先づ幸福と云はなければならないわ』

絢子は然うも思ひ直してゐるのだつた。自分さへそんな事を氣にかけなければ、先づ世間並の女より幸福であつた。そして、彼の白井とも此四五年逢ふ機會もないのを、寧ろ仕合せだと思つて、出來るだけ良人の辰衛に愛情を傾けて來た。殊に貞子と云ふ愛らしい子が出來てからは、人の母らしい愛情が自然に湧き出て、自分の幸福を感謝しないではゐられなかつた。今では貞子は、彼女に取つて生活の全部とも思はれるほど可愛いものになつたのであつた。

『まあ、奥さま此方でございましたか。お孃さまがお目をお覺しになりましてよ』

乳母のお篠が然う言ひながら貞子を抱いて入つて來た。絢子ははつとして長い追懷から覺めて、笑顏をそつちへ向けた。

『まあ、貞子さんはもうおッきしたの？　さう獨りで淋しかつたでしよね。惡かつたわね。さいらつしやいよ』と、直ぐ我子を膝の上に抱取つた。お篠は菓子折からお菓子を出して來て貞子に握らせた。

『おいしいものを頂いて、いゝのね』

機嫌のいゝ、躍起の顏を見ながら、絢子も笑つて、お篠と辰衛の許へ來たお客の話などをしてゐるところへ、客を送り出した辰衛が、狩獵な着た儘で入つて來た。

『會社の者が二人來たよ。東京に行つたんださうだが、時間が違つてゐて會へなかつたつて。時間も知らせないで、默つて歸るなどとは、不都合だなんて言つてたつけ。あはゝゝゝ』

『まあ、さよでございますか。それあお氣の毒でしたわね』

『神戸から會社の方へは、お報せあそばさなかつたんでございますか』

絢子と、お篠が左右から訊ねた。

『なあに、そんな大袈裟なことをするにや當らんからな。一年や、二年半くらゐの洋行は、ものゝ數でもないぢやないか』

『それあ然うでせうけれど、ね乳母、折角お迎へに來て戴いた方たちに、氣の毒ぢやないの』

『さよでございますね。此ども存じないことゝは申しながら、濟みませんでございましたわね』

『あはゝゝ』と、辰衛はまた笑つて『まあ可いさ。先生等もその爲に今日は半日休めたと云ふもんさ』

『おほゝゝゝ。まあ若旦那さまも、面白いことばつかり』

お篠は堪まらないと云つた風に笑ひ崩れた。

午後には辰衛の歸朝を祝ふ來客で、島家は可也混雜した。夜になると、家内一同と、それから近い親戚や、親しい人たちが集まつて、辰衛の爲に盛な晩餐會が催された。

皮膚科 專門 外科　扇田醫院　京城太平通二丁目　電話二二五八番

著荷 純咸從栗　極大粒にして甘味甚だ强く 內地土產として御贈答珍品 並に 平壤生栗 大勉强販賣仕候　京城南大門通り四丁目　朝日堂

五の日十の日會句

〇　披 柳
雨降りの日暮の廚から炭火が運ばれ
大根車が監獄の塀に沿ふた時雨過ぎる

〇　貞 敏
師走貸出の大旗が無風の二階
雪曇りの空の大樹の乾き滿ちたり

〇　黄 丘
人込みの女が襟卷を外して自分になつた
新らしい被布にまろくなつて子供

〇　不 考 郎
絢子の顏がはちきれさうな蜜柑の話
盆の蜜柑が目に見へて喰はるゝなり

〇　麥 哉
人數の酒の量の計るが面白い
夕暮馬荷下ろす時雨となり

〇　二 郎
おろかさの風邪ひきやすき女が喰ひ
眞晝湯に我曲り角窓店の句の仕上げ

〇　巳 角 子
師走の隣の婚禮が私をちいさくする
腹食へた不孝者の顏です

〇　鳥 堂
臘八の佛燈にあゝやはらかみ
臘八の寺近く住めば臘八の朝

〇　金 龜 城
抱へ見る母の遺骨の外套の下
冴ゆるみ堂の圓柱胸打つ

〇　浮 碧 樓
夜なべ羽子店のショーウインドに立つた
冬夜の家畜の音のせば妻の蹴ふる

〇　秋 風 嶺
山々ひきはぐれ鴫に日暮るゝ
丘の樹の葉落ち誰が來る
九、一二、五

川柳　劍花坊選

〇　京 城　十 司 男
楊貴妃に似た人が居る展望車
稽動の女中部屋から夜が明け

〇　江 景　不 二 郎
病葉を浴びて狂女の足拍子
道德を說きくゝ腹をふくらせる

後記

▲私へ（忠告下さつた紅氏は私の知つてゐる先輩として一度でも句の添削を仰いだ事の）吟社？でして下さつた厚意を感謝する仁の紅氏として過去は知りませんが一唱申上げたいと思ひます故、仰の通り五の日十の日會の句は立派に自己の個性を發揮して恥じないかも知れません貴郎方が私達を攻撃される程の事でも無いと思ひます貴方方も俳句の道へ進んで少しでも向上が出來て行けばそこに自然と新しい自己の偽らない表現を見出す事が出來ると思ひます、貴方方の會を見てもあゝ好いと心から喜ぶ句は矢張り少ないのを悲しく思ひます同時に貴郎方が私達の句を捕らないと思ふのと同じではありますまいか忠告下さつた一層の努力は有難く御受けして私達は私達の進まんとする俳句の道程を一步又一步除々に向上して行きませう然し五の日十の日會の句全部を有難く頂戴する事は出來ない事を斷つて置きます。▲（明石木夜）へ山口縣人會事務所の所在御承知の方に伺ひます尚入會の手續等も同時に（新渡航者）へ新誰詳細は本町三丁目佐我勉氏へ直接お尋ねになれば分るでせう（係）

新刊紹介

ショウイトグラスの前で迎れ右 淚など武器にはしない婦人會 〇 京城 輝 華
夜の橋カラリコロリとなるらし お祭の晴着縫うてる丑の刻 パラソルとステッキが行く秋の海

▲修養日記（大正十年）修養の二字を冠してあるだけに此の日誌は總てに適つた點がある、記入欄の如きも外的生活、內的生活、讀書欄を殊に定めて行の二つに別け更に社會、雜事の兩欄を設けて日常の出來事を記さるゝやうにしてある、殊に古聖賢の金言を一日一言づゝ掲げてあるも妙（一圓東京神田區西小川町東亞堂）

▲海宮講話（第一冊）醫學士森支道氏著）海宮術を基礎として處世の要道を講究したい人の爲め著者は醫者の見地から斯道な說明し且つ精神修養法を鼓吹してゐるから其の眞相を究めんとする人々は是非本書を讀む必要がある（一圓二十錢東京京橋區西紺屋町濟民社出版部）

▲ニコ〱（十二月）政治といはず經濟といはず文藝といはず社會あらゆる方面から萬般に亘つて趣味多く他くまで遡り拔いた記事は趣味多く他持色を發揮してゐる（五十錢東京麴町區有樂町共俱樂部）

▲食物の養生（十二月）健康を欲するものは營物の營生に心懸ければならぬ、それの研究に資するには本誌に依るか一番の捷徑（二十錢東京牛込區市ケ谷町石塚療養所）

▲自由評論（十二月）年末飛躍號この題目に背かず掉尾の活躍振は敬服に値する（四十錢東京赤坂區田町共社）

▲南柯（十二月）武田鶯塘氏の編輯に係る純俳諧雜誌（三十錢東京赤坂區中之島共吟社）

▲我が家（十二月）六錢東京麴町區飯田町富國徵兵人會本部

▲願ひ路（十二月）三十五錢東京京橋區南伝馬町共社

▲朝鮮實業俱樂部會報（十一月）五十錢京城長谷川町共俱樂部

▲新記世界（十一月）三十錢東京神田美土代町新記錄研究會

▲隨鷗集（十一月）五十錢東京麻布區仲之町共吟社

▲東洋皮革新誌（十一月）二十錢大阪東區內淡路町共社

▲大和魂（十二月）三十五錢東京京橋區樂橋南詰共社

▲安東經濟時報（十月）五十錢滿洲安東縣安東商業會議所

▲電氣之友（十二月一日）三十五錢東京京橋區南鍋町電友社

▲市町村雜誌（十一月）十七錢東京芝區田村町共社

小林喜三郎先生著　はつ戀
戀に飢へ愛に渴し、淺艷なる肉の香に餓し、胸中密かに迫る滿なき悶々の情を包める。若き血の燃ゆる男女の喝望を慰めん爲め。著者が粹人として謳はれたる。一流の紅筆を呵し。戀の妙味と愛の眞髓を恰も一卷の繪卷を眼前に展開して見る如く。男女人情の機微を最も大膽露骨に描寫したる。淺艷たる治の筆致も、浮き立つ樣な艷緣なる情緒は、誰かに新しき艷の讀に渴望し給ふ戀の情緒史。男女粹士よ秋の閑な夜に人知れず御閱讀是非心行くまで恍惚とお樂みあれ。
四六版四百餘頁總クロース金文字入天金箔入送料共金武圓代金引換小包郵稅增
新刊申込者に記名入美人寫眞百枚進呈す
振替東京四三〇六八　東京神田淡路町六　紅玉社

ほねくさり
ウミ流れて
關節が痛み手足は勿論身體の何れを間はずアナあき痛みがハレ百又はセホ示き痛がみ初に方治の據すにも効あり不幸し日本に初にて始めての發藥を揃て御求め下さい
イキラズ
さらに切治しせ何ひ日々の難き苦痛を家的で身體の特效之とし次第に汗はかな分けては送料共六十錢ん
右は東京市日本橋區 兵庫縣明石郡明石町相生町
長壽園製藥所

優良無比
◎好評嘖々贈テ安心貴重ナル然モ價頃ナルガ故到ル處ニテ激賞ヲ博シツヽアル
御贈答ニハ
◎販賣店到ル處ニ有リ
發賣元　京城明治町二丁目　大塚合名會社京城支店　電四〇一　振替京城五七〇番

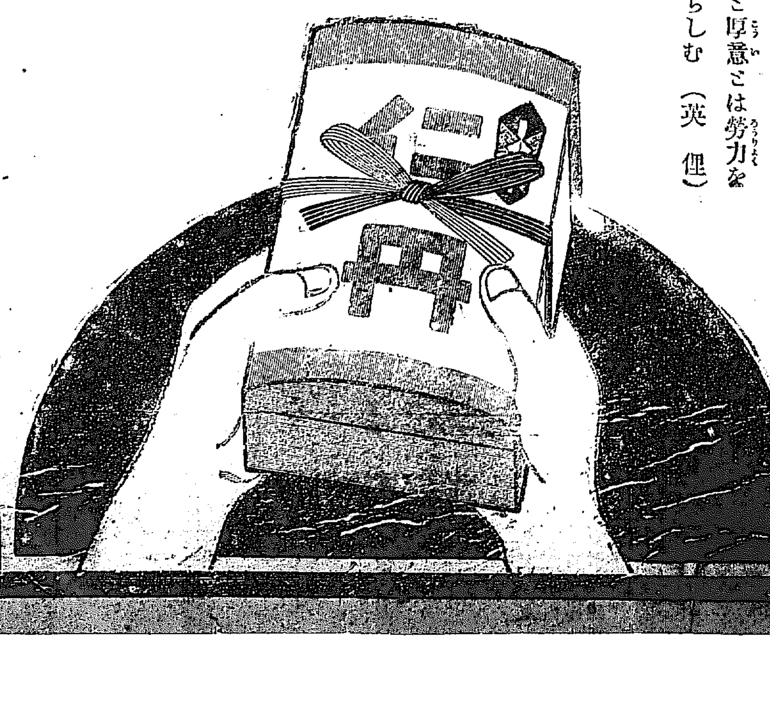
食料品　文具紙物　荒物履物　土管鮮人向陶器　其他日鮮人向日用品一切
●鹽●醬　龍山會組代理店
漆器家具　金物　卸商
仁川新町　津田兄弟屋本店　電話七六二番　振替口座京城三八九番
京城明治町二丁目　津田兄弟屋支店　電話三四〇番　振替口座京城三八一番

TAKA-DIASTASE
胃腸疾患と
タカヂアスターゼ
高峰博士發見の本劑は胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥として多數の臨床醫家に依り賞用せらる
內外醫家の實驗報告書あり無代贈呈す。
本社 東京日本橋區室町三丁目
出張所 大阪淡路町・臺北府後街
三共株式會社

最も安心の出來る靴
直接提供
ボックス上革編上　一號金五十五圓 二號金五十六圓 三號金五十八圓 特別製
ボックス荒形靴　一號金五十五圓 二號金五十六圓 三號金五十六圓 特別製九十圓
ボックス深ゴム　一號金五十六圓 二號金五十六圓 三號金五十七圓 特別製十圓
御注文の節は靴の種類と足袋の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
東京本所三ノ橋際　松本高等靴製造所
電話本所 五〇九三 振替東京 二一五五八 電略（マ）又（マツ）
定價表進呈 郵券二錢要

臨床醫家諸賢へ急告
夜尿症新藥
新發賣 注射藥
アンチエヌレシン
本劑の注射により一ケ月十回乃至二十回夜尿する六歲乃至十八歲の患者にして三乃至十回の注射により七七、六プロセントの治癒者を見たる最新の特效藥なり。
（壹箱壹cc六管入）（說明書送呈）
發賣元　大阪道修町　株式會社　鹽野義商店
東京出張所　日本橋區本銀町三丁目九

歲暮の贈物は仁丹が一番!!
貰ふ方には欣ばれ………
贈るには手輕で至極重寶
金言　愉快と厚意とは勞力を輕からしむ（英　俚）



汽車時刻

京釜線

南大門發	[illegible]
龍山發	[illegible]
永登浦發	[illegible]
水原發	[illegible]
平澤發	[illegible]
成歡發	[illegible]

同

京義線

湖南線

馬山線

京仁線